臥龍

臥龍　昭和二十一年八月二十七日
第三種郵便物認可
令和二年一月一日発行
第八十一巻一号　一月号
（通巻一七八二号）

1月号

締切 1/28

2020
80th

謹賀新年

令和二年庚子（かのえね） 創立八十周年を迎えるにあたり

新年明けましておめでとうございます。

本会は昭和十五年（一九四〇）創立、おかげさまで創立八十周年を迎えました。また本誌も大小通巻一七八二号を数えました。これもひとえに会員皆様のご理解ご支援のおかげによりますものと心より御礼申し上げます。

本年は元号も新しくなり、自国での五輪開催とともに本会創立八十周年の記念の年を迎えました。

『この輝しき皇紀二千六百年こそは、肇國の大精神に基き更に一段の飛躍進展をなすべき年なれば、吾等書道人も國民精神作興の一助とし、書道鼓吹の為小誌を刊行し、一致協力以てこの意義ある年を永く記念とす。』

―昭和十五年二月十一日、創刊号「發刊の辭」―

創設者・初代会長日賀野東華の心意気が切々と胸に迫ります。

昭和三十六年会代表、四十四年会長就任以来、半世紀にわたり、会の運営と会社の経営に尽力して参りました。電子機器万能の世でありますが、手書きによる技能はどんな時代になっても滅びることはありません。今後もその気構えでこの会を継続させることを次の者に期待したいと思います。八十周年の節目を機にさらに大きく飛躍したいという願いを込めて、臥龍誌を大幅にリニューアルいたしました。

今後とも末永く宜しくお願い申し上げます。

臥龍会会長　日賀野　溥

表紙について

「一、明ける花」

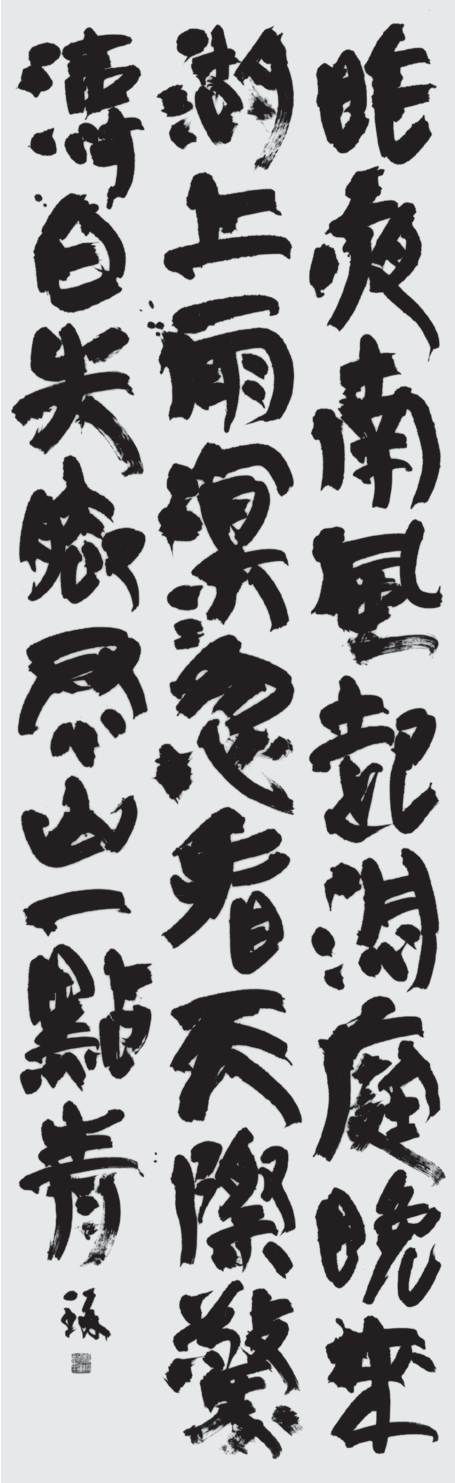
２０２０、８０年を数える年。
一年の始まりに、紅白の椿を咲かせる。
誰かのもとへとどく花であってほしい。
誰かの願いをかなえる花であってほしい。
毎月一つ、十二個の花を、咲かせてゆく。

鎌村 和貴
Kazuki Kamamura

１９８５年 徳島県生まれ。
大東文化大学文学部書道学科卒業
武蔵野美術大学大学院基礎デザイン学コース修了
卒業後（株）資生堂 宣伝・デザイン部のデザイナーとして入社。２０１９年、独立。
現在は文字を中心に、イラスト、グラフィックデザイン、陶芸作品などを制作。

書　展　近　作

改組 新 第６回日展
会期　令和元年11月1日㈮～24日㈰
会場　国立新美術館



改組　新　第６回日展（２０１９）

王俛詩　会員　日賀野　琢

書展近作

改組 新 第６回日展
会期　令和元年11月1日㈮～24日㈰
会場　国立新美術館

改組　新　第６回日展　豊の秋　入選　赤澤　寧生

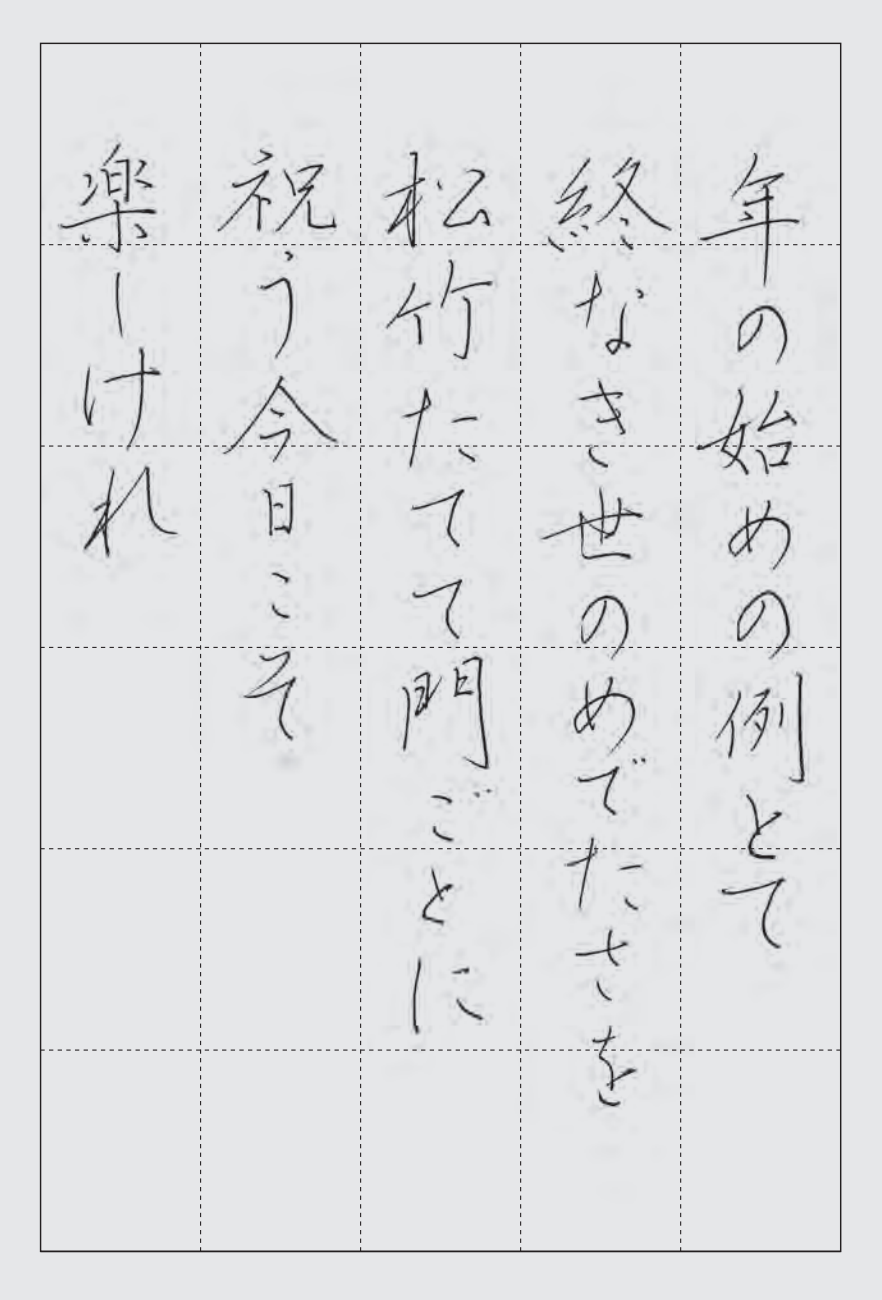
改組　新　第６回日展　明懿　入選　角田　大壤

改組　新　第６回日展　眞山民詩　入選　平石　彰之

改組　新　第６回日展　歸去來辭一節　入選　山下　睦未

硬筆部

○よみ…年の始めの例とて　終なき世のめでたさを　松竹たてて門ごとに
　祝う今日こそ　楽しけれ
○コメント…明治26年文部省唱歌「一月一日」歌詞より。作詞は島根県出雲大社宮司をしていた千家尊福（せんげたかとみ）氏となります。
○一月号からは黒ボールペンで書いてください。



平井子晴書

○選定用紙以外のものは選外とします。
　臥龍会選定用紙は本部にご注文ください。（枠アリ枠ナシ共通です。）
　下記の詳細を参照下さい。

臥龍会選定用紙

冊数	価格	送料	合計
1～2冊	1冊につき460円	180円	送料加算
3～8冊		370円	送料加算
9～29冊		本部問合せ	送料加算
30冊以上		送料本部負担	

◎現金書留または振替での送金も可とします。会費等と同送の場合は正確な明細を必ずご記入下さい。

募集要項

今月から筆記具指定が変わります。
①**黒ボールペン**使用に限ります。ペン・鉛筆・サインペン等は不可。
②硬筆部は、今までの級位を継続します。必ず「支部・級位・姓号」を所定の位置に書いて下さい。

半紙部 漢字科

楷書

「一意専心」

日賀野　琢　書・解説

支部名・個人は県名又は市名・段級・性名（号）を筆で書きます。
漢字科楷書・行書・草書の段級は共通です。

次号課題「士魂商才」

課題文字解説

編集部記

「一意専心」

「意を一（いつ）にして心を専（もっぱ）らにす」と読む。この言葉はかつて若乃花（三代目）が大関に昇進したとき、『これからは、一意専心稽古に励み、相撲道に精進します』と挨拶したことで話題になった。

出典としては「一意搏心」という表記で、『管子』（かんし）―春秋時代の管仲（かんちゅう）＝紀元前七世紀の人＝の書と言われる）に見える。「搏」は「専」と同じ。

また、ひっくり返して「専心一意」とも言う。（前漢の陸賈＝紀元前二世紀の人＝の『新語』に見える。

☆レッスンポイント

明けましておめでとうございます。臥龍誌リニューアル第一弾！

今月から同月三体を担当します。皆様方の個性的で自由な表現を期待して、一生懸命参考手本を揮毫していきます。どうぞよろしくお願いします。

＊　＊

一…今月は虞世南「孔子廟堂碑」風にまとめました。起筆を穏やかに入れて、だんだん加圧して収筆をしっかり押さえます。

意…全体を縦長に聳え立つように。「心」は扁平にします。

専…これも縦長に。字形は「ム」が入る旧体にしました。

心…空間を占めるために堂々と。三つの点各々に心を込めて。

半紙部 漢字科

行書「一意専心」 日賀野 琢 書・解説

☆**レッスンポイント**

一…起筆は強く打ち込み、収筆で気脈を演出。

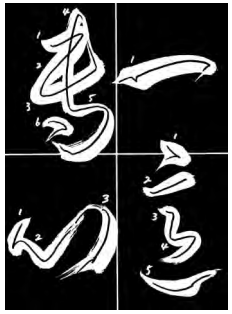
意…点を高い位置に。自然な流れを保ちながら一気に進む。

専…上部の幅を狭く、「寸」で横に展開。

心…一画目の点と二画目を連結、最後の二点は気持ちを切らずに。

半紙部 漢字科

草書「一意専心」 日賀野 琢 書・解説



☆**レッスンポイント**

一…書譜の「一」を念頭に。横から滑り込むように入筆。

意…弾むような運筆を。打楽器的に。

専…上部は左右に筆を沈めながら、最後の回転は軽快に。

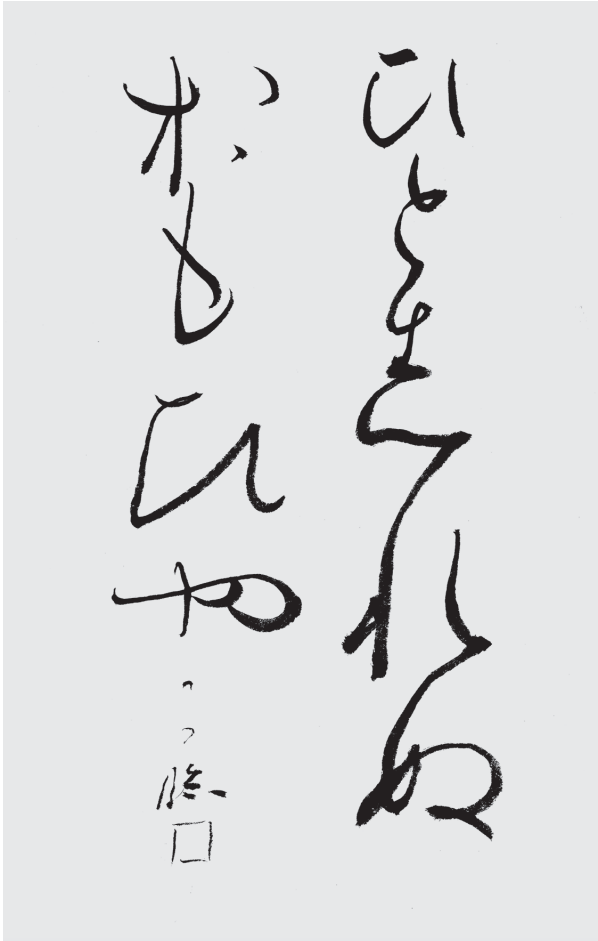
心…上下にしっかりと筆を紙に喰い込ませてリズミカルに。

作品の左側に「支部名（個人は県名か市名）・段級・姓号」を毛筆書して下さい。なお、課題文字の書体や書き振りで楷書・行書・草書の判別がつきにくい場合があります。必ず左下に㊥㊧㊨の区別、プラス「支部・段級・姓号」を鉛筆書して下さい。過大紙・着色紙は使用しないこと。

半紙部 かな科

上級〔臨書・関戸本古今集〕〈教範～特位〉

吉田竹溪 臨・解説



原帖・解説を参照し、右のように半紙に臨書してください。

■次号課題　関戸本古今集506「ひとししれぬおもひや**なぞとあしがき**のまぢかかくみれどあふよしももなし」

◎法帖取次いたします。
二玄社・日本名筆選19　**関戸本古今集**　三、七四〇円　送料三七〇円
申込　臥龍会本部　　現金書留または振替での送金も可

「関戸本古今集」ポケットメモ

伝藤原行成筆とされるが筆者不明。関戸家蔵によりこの名がついた。華麗で多彩な連綿技法とかなど調和した和様漢字は古筆の頂点とされ、明治以来、人気度トップの劇跡。

関戸本古今集（せきどぼんこきんしゅう）
二玄社　日本名筆選（19）33頁506

◇一首全文

「**ひとしれぬおもひや**なぞとあしがきのまぢかくみれど
あふよしもなし」

◇歌意　人知れぬ思いなんて無意味だと思ってはいるが間近に葦の垣根と同様に間近に住んでいても会う機会はないものだ。

◇課題　「**ひとしれぬおもひや**」

◇解説　新方式最初の課題です。学習区分は、一月号から五月号まで、六月号から一〇月号まで、十一月号から十二月号までの三区分とし、一年で三首を臨書します。
今回は五月号まで一首を五回、様々な視点から検証します。
一行目「ひとしれぬ」
潤沢な墨量で、字幅と配置を微妙に変化させながら五字連綿「志」から「れ」、「れ」から「ぬ」への連綿線の筆使いは似ていて非です。行の傾斜と文字の中心を正確に読みきって書いてください。
二行目「おもひや」
細めながらすべて放ち書きで筆脈を通す。字間の微妙な違い見落とさない。字の幅と前の字との間合いと左右の位置関係は常に掴んでおく習慣を。

★募集要項

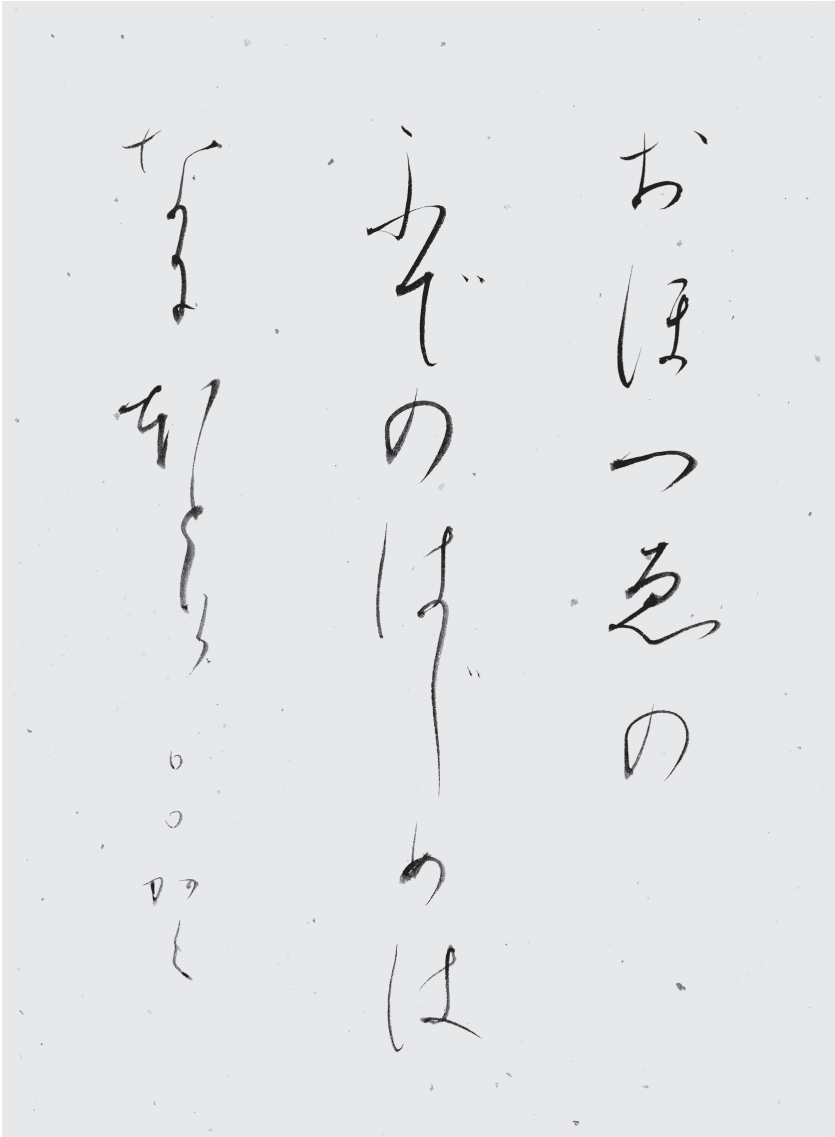
①教範～特位
②作品本文の文末に添わせて雅号または名前を○○臨と毛筆書して下さい。さらに左下に「支部・級位・姓号」を鉛筆書して下さい。過大紙・濃い着色紙は使用しないこと。

半紙部 かな科

初級〈優位～新入〉

大津絵の筆のはじめは何仏（松尾芭蕉）

変体仏名＝に（尓）・ほ（本）・け（介）



貞永大樹 書・解説

1964年　京都市生まれ
1987年　筑波大学芸術専門学群書コース卒業
現在　滋賀県立高校書道科教諭
公益社団法人滋賀県書道協会理事

今月号より、かな科初級を担当させていただきます。初級のページでは、俳句を題材に、仮名の基本用筆、

単体（一行目）
連綿（二行目）
変体仏名＋連綿（三行目）

を学習できるよう構成しています。部分練習をしっかりやって、基礎基本を習得してください。

一行目＝平仮名の単体

おほつゑの

起筆や転折時の用筆に注意しましょう。

二行目＝平仮名を何カ所か連綿

ふで

力強い連綿線で

はじ

中心を右移動して一気に

三行目＝変体仏名と連綿を交えて

なに

行幅の変化を意識しましょう

ほとけ

「と」の最後を省略して「け」に連綿していきましょう。行の中心右移動。

★募集要項

①優位～新入

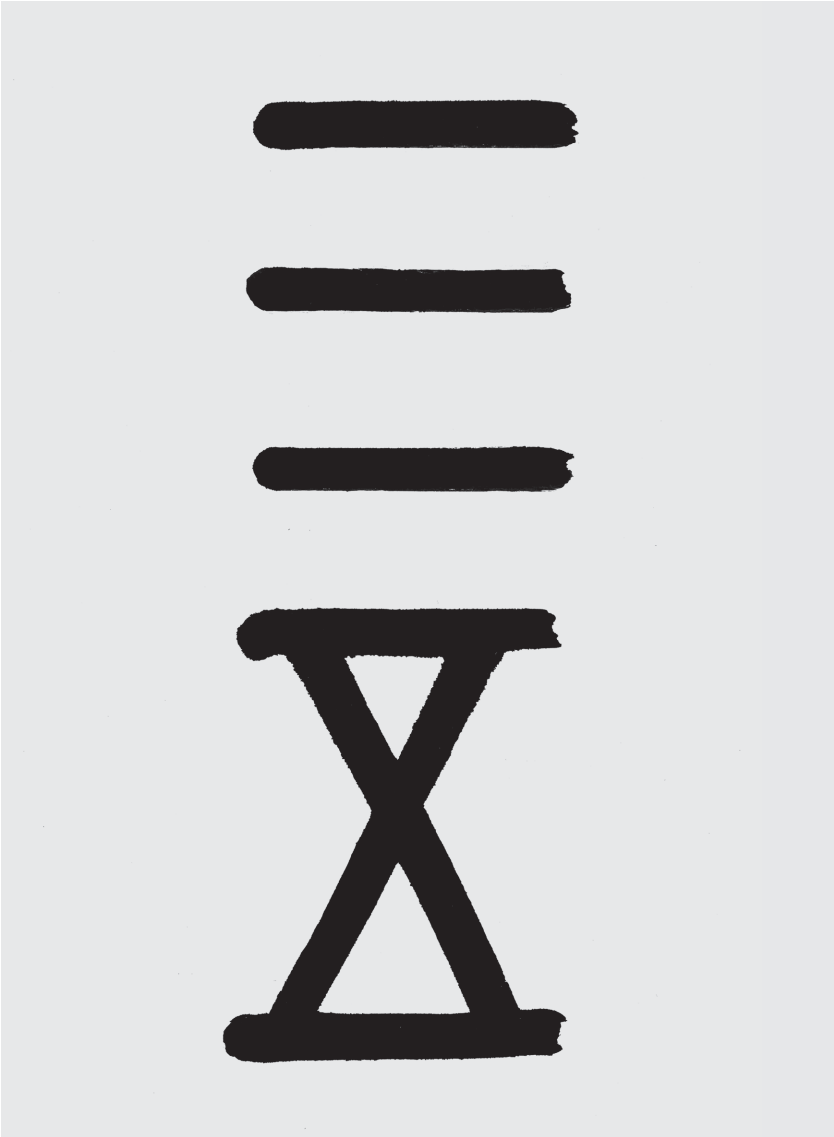
②作品本文の文末に添わせて雅号または名前を「○○かく」と毛筆書きして下さい。さらに左下に「支部・級位・姓号」を鉛筆書して下さい。

過大紙・濃い着色紙は使用しないこと。

半紙部 篆書科

全ての会員が出品できます（審査後、編入段級を決定発表します）

日賀野　琢　書・解説



【課題語句】　三　五　（漢数字）

最初は基本的な小篆の点画を取り上げます。

☆レッスンポイント

今月から新たに「篆書科」がスタートします。

篆書は漢字の五書体の中で、最も古い書体です。ひとくちに篆書といっても、さまざまなスタイルがあります。まずは秦の始皇帝の頃（紀元前二一九年）に完成された姿の「小篆」をじっくりと学んで行きましょう。

①起筆は筆先が出ないように、一回巻いて、つつみこむようにします。

②線を引くときは筆先が線の中央を通るように動かします。

③収筆は強く押えたり、ぬき払ったりせず、そのまま筆を引き上げるようにします。

④横画は水平が原則です。

※篆書の中でも、この小篆を書く際には、息を殺して（時には息を止めて）、しっかり線を引くことが大切です。

普段、右上がりの楷書や、動きのある行草書に慣れている私たちは、いかに自分のフリーハンドがいい加減か体感させられます。

荘厳で静止的な小篆の美しさを表現しましょう。

★募集要項

①半紙タテ。毛筆落款不要。

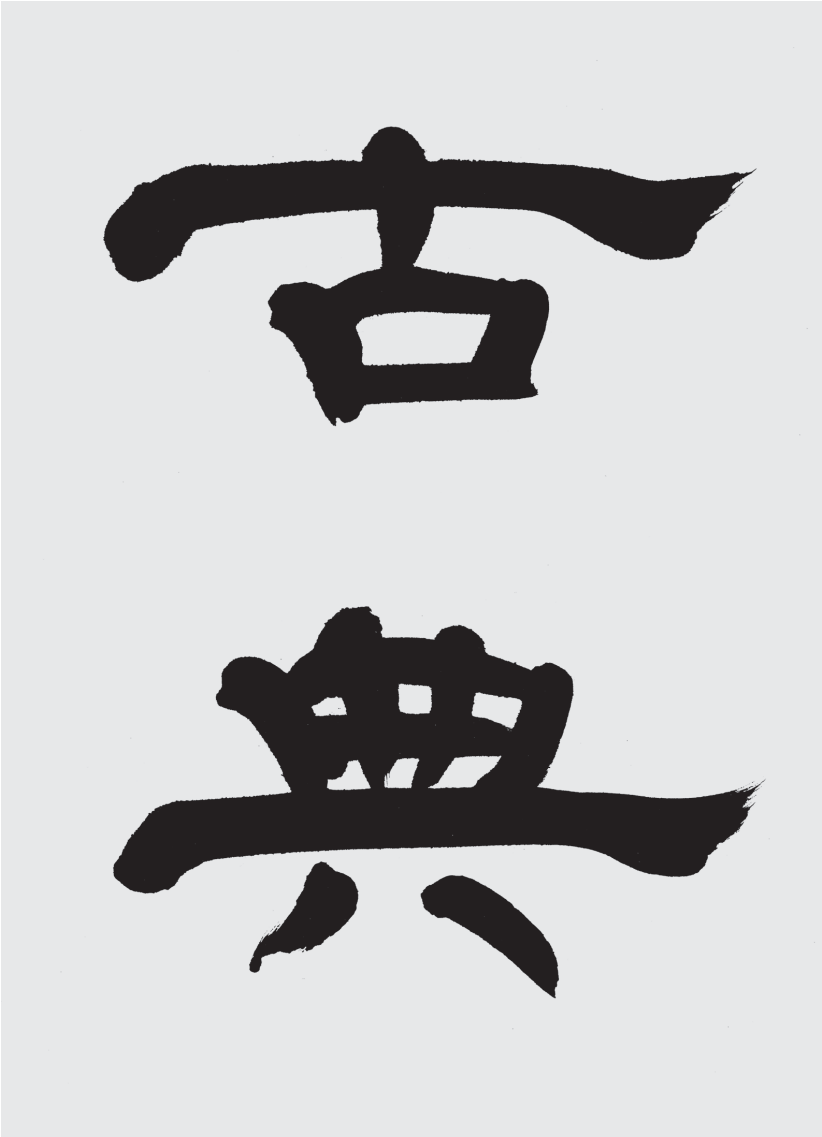
②左下に鉛筆で「支部・新・姓号」を横書きして下さい。

③篆書科の段級は独自の段級となります。漢字科楷書・行書・草書とは別です。今月は全員「**新**」と書いてください。

半紙部 隷書科

全ての会員が出品できます（審査後、編入段級を決定発表します）

日賀野　琢　書・解説



【課題語句】　古　典　（こてん）

最初は基本的な八分体を取り上げます。

☆レッスンポイント

今月から新たに「隷書科」がスタートします。

本会では今までも条幅科や半紙臨書研究科で隷書を課題として取り上げてきましたが、今月からあらためて独立した部門として、隷書学習に取り組んで行きましょう。

隷書には様々な姿がありますが、まずは基本となる「八分体」を学びます。

【隷書の四原則】

①逆入　全ての点画の起筆を、筆を巻き込むように逆に入れます。

②波勢　隷書の全ての点画には波勢という流麗な波のリズムが内臓されています。一字中、主役となる横画の収筆には右上に跳ね上げる波磔（はたく）がつきます。

③水平　八分体の隷書は原則的に水平感覚です。偏旁の字で偏が右上がりになっても旁で緩和されて正面向きになります。

④扁平　隷書は横への展開が旺盛なため、文字全体の字形は概ね横長になります。なるべく背を低く、扁平に構えることが重要です。

＊隷書は表現の幅が広いので、必ずしも参考手本に依らず、独自に表現されても構いません。

★募集要項

①半紙タテ。毛筆落款不要。

②左下に鉛筆で「支部・新・姓号」を横書きして下さい。

③隷書科の段級は独自の段級となります。漢字科楷書・行書・草書とは別です。今月は全員「**新**」と書いてください。

半紙部 詩文書科

全ての会員が出品できます（審査後、編入段級を決定発表します）

赤澤寧生 書・解説

【課題語句】初夢やさめても花ははなごころ〈千代女〉

1974年　宇都宮市生まれ
現在
毎日書道展審査会員
創玄書道会一科審査会員
日本詩文書作家協会評議員

☆レッスンポイント

新設の詩文書科を担当することになりました。よろしくお願い致します。

このコーナーでは「読めて」「飾って」「生活の中で楽しめる」詩文書作品作りを目指したいと思っています。

現代の文（日本語）を、日本人である我々が、書作品の素材として書くことは、自然なことです。積極的にチャレンジして書の楽しみの幅を広げましょう。幅が広がると、更に書道が楽しくなります。

詩文書の制作では、漢字と平仮名との調和が一番のポイントになります。

今回の課題では、平仮名の大中小の変化に注目してください。特に大きい平仮名が漢字との調和をもたらしています。隣りの行との押し引きも参考にしながら構成を考えて書いてください。

★募集要項

①半紙タテ。毛筆の落款は自分の名（号）を書く。
②左下に鉛筆で「支部・新・姓号」を横書きして下さい。
③詩文書科の段級は独自の段級となります。漢字科楷書・行書・草書とは別です。今月は全員「**新**」と書いてください。

半紙部 臨書研究科

【孫秋生劉起祖等造像記】教範～新入（半紙）

平石彰之 臨・解説

【龍門二十品】（りゅうもんにじゅっぴん）
龍門二十品とは北魏時代に開鑿された龍門石窟内の、書法的に秀でた造像記二〇種の総称で、現在最も一般的な呼称です。
造像記とは、亡き人の供養、一族の安穏を祈願して仏像を造立する由来を記したものになります。

【孫秋生劉起祖等造像記】
（そんしゅうせいりゅうきそとうぞうぞうき）
景明三年（五〇二）、一三〇・〇×四九・〇㎝、全一三行、一行三十九字。

「榮陽太守孫道」

○学習のねらい
鋭く強い点画を持ち、右肩上がりで引き締まった方筆の特色を学びましょう。

☆レッスンポイント
榮…重厚な結体
陽…鋭い右上がりとバランス
太…切れ味よく
守…長い横画
孫…起筆の角度に注意
道…最終画のしんにょうの払い

★募集要項
①教範～新入。
半紙部漢字臨書研究科の段級は、漢字科の段級と共通。
課題文字六文字（参考手本参照）を半紙に臨書。
②作品左側に雅号または名前臨のみを毛筆書し、さらに左下に「支部・段級・姓号」を鉛筆書して下さい。

条幅部 課題科

教範～新入（半切タテ書）

郷間大悠書

▽原文

春宵一刻直千金。花有清香月有陰。

▽読み下し文

春宵一刻直千金、花に清香有り月に陰有り。

▽出典

蘇軾

※今月より条幅部課題科は一部二部がひとつに統合されます。教範から新入までがこの課題で出品できます。

【今月のレッスンポイント】

今月から条幅課題科は一本化され、教範～新入、すべての会員の方が出品できます。

今月は、典型的な行草書二行。まずは文字の大小変化に留意してください。十四字の中で、主役になる字は大きめに（「宵」「刻」「清」など）、脇役は小さめに（「一」「千」「月」など）。大小と字幅の変化を生み出すことで、行に振幅が現れ、空間の美しい出入りが表出します。当然、各行の気脈の貫通も大切です。

ベテランの方は、課題科ですので、この詩文を用いて、様々な書体に挑戦してください。

条幅部 自由科

教範～新入（半切タテ書）

平井子晴 書

氣新光照（気新たに光照かなり）〈王讚〉

創作研究科

漢字課題

審査 大輪無涯

萬歲壽而康
万歳寿にして康。
錢陳翠

半切タテ書

出品資格 **準師範以上**。書体自由。無差別審査

かな課題

審査 赤澤豊

袖口に日の色うれし今朝の春
〈三浦樗良〉

半切タテ書

出品資格 **準師範以上**。かな漢字の変換自由。ちらし自由。かなづかい出題通り。無差別審査。

〆切 一月二十八日

発表四月号

○両科共必ず「支部・段級・姓号」を作品の左下に鉛筆書して下さい。

条幅部規定

●条幅部・課題科

①当月掲載手本の課題に限る。書体書風は任意。②一人一点。③半切タテ書。④漢字科の段級区分。龍（教範・特師範）・虎（師範・準師範・七段）天（六段・五段・四段）・地（参段以下）

●条幅部・自由科

①当月掲載手本以外に書体字数任意。（同月の別科課題は不可）②一人一点。③その月の参考手本の紙型。④無差別審査（第一次審査によって龍・雪・月・花の区分決定。その後序列審査）

★両科とも**条幅左下部に**「種別（課題科・自由科）・支部・段級・姓号」をタテ書で鉛筆書して下さい。以上規定違反の作品は審査対象外となります。

〆切 一月二十八日

条幅部 臨書研究科

【張猛龍碑】① 教範～新入（半切タテ書）

猛龍。字神囘。南陽白水人也。其氏族（猛龍（もうりょう）、字（あざな）は神囘、南陽白水の人なり。其（そ）の氏族は）

臨書参考手本

赤澤 豊 臨

張猛龍碑を学ぶ（第一回）

赤澤　豊

臥龍誌リニューアル第一号の今年の条幅臨書研究科は楷書の張猛龍碑です。

張猛龍碑（北貌・五二二）は、北魏の魯郡の太守をしていた張猛龍の徳行を顕彰するために建てられた碑です。山東省曲阜の孔子廟にあり、碑文は楷書で二六行、一行四六文字で、碑陰にはこの碑を建てるのに関与した人々の名が記されています。

この碑は古くから知られていますが、清時代の碑学の隆盛にともなって代表的な北碑として注目され龍門造像記や鄭道昭の摩崖碑に続く北貌の終わり頃の傑作です。同時代の墓誌などにも類似の書風が見られます。

◆焦点は字形のバランス

北魏の楷書の特色は、初唐の三大家（欧陽詢、虞世南、褚遂良）の楷書と比較するとその特色がより鮮明です。

字形は、極端な右肩上がりを示しています。そして鋭い起筆の打ち込み、力強い転折などは、刻法に負うところも大きく拓本によってその緊張した美がいっそうきわだっています。横画の右肩上がりが、どのような造形上のバランスをしているか。その一つとして、中央の縦画と字形の中心線との関係は、縦画が中心線よりやや右寄りに位置しています。横画が右肩上がりになればなるほど、縦画は右に移動するというバランス上の法則が見えてきます。次に、右払いの線の長さに比べ、左払いの線がやや長めで、しかも強い筆圧で強調されています。扇と芳の関係においても、芳の大きさに対して扇がかなり大きめに書かれている場合が多く、冠と足からなる上下構造の文字も冠を大きめに強調しています。また扇と芳の高低の差も著しい表現で、しかも長い横画をアクセントとしています。

全体的に一字の構造が正方形や長方形をややゆがませた斜体構造をとっています。

◆唐代の既成概念を捨てて書こう

自分の腕の中にどうしても唐時代の楷書が記憶され、なかなか張猛龍碑の斜体構造に迫ることが出来ないかもしれません。まず張猛龍碑の法帖全体を眺め特徴を確認することから始め、次にいきなり条幅に書かず半紙で練習してから条幅に書くことを心掛けて下さい。

◆各字のポイント

猛…「子」の横画は右上がりに張り出す。

龍…ハネは鋭く。旁の終画は右に長めに。

字…求心的な字形だが右上がりの横画が強調されている。

神…扇と旁のアンバランスな関係が魅力的。

囚…二つの点の位置がポイント。

南…三画目短く下側に位置し、右側の張りを強調。

陽…縦長字形。旁の下部を締めて右上がり字形を強調。

白…画目の右上がり、転折の強さ。

水…左払い特に長く字形の安定を図る。

人…一、二画目のバランス強靭な感じ。左払い長く。

也…一画目と起筆の位置と最終画の位置が下部で揃っている。二画目高い。

其…六画目左長く、左の点の位置が右の点の位置より下。

氏…一角目強く払い四画目右下に強く張る。

族…横画並行で右上がり。

作者はどんな性格の人だったのか？文字から推測するとまた張猛龍碑に迫る楽しさが湧いてきそうです。少し字形の特徴を強調して書いてみると作品効果が上がるでしょう。

募集要項

●条幅部臨書研究科

①当月掲載の古典・課題部分（参考手本参照）を臨書。

②一人一点。③半切タテ書。

④審査区分＝龍（教範・特師範）・虎（師範・準師範・七段）

天（六段・五段・四段）・地（参段以下）

★条幅左下に「臨書研究科・支部・段級・姓号」を鉛筆書して下さい。

以上規定違反の作品は審査対象外となります。

◎法帖取次ぎいたします。

二玄社（中国法書選）

張猛龍碑（23）ガイド付・・・二、五〇八円＋送料三七〇円

◎現金書留または振替での送金も可とします。会費等と同送の場合は正確な明細を必ずご記入下さい。

本部選定　画仙紙　取次いたします。

『臥龍瑞雲』　一反　一〇〇枚　六、八〇〇円（内税）

一反～二反は送料八五〇円・三反以上は送料無料

（遠距離の場合は送料が変わりますので、本部に取い合わせ下さい。）

※お申し込みは臥龍会本部まで。現金書留または振替も可。

幼年・小学一年てほん

日賀野　琢　書

「おもち」
文…あらいそうめい

おもちを　ついたら
おしょうがつ

おもちが　しろい
おしょうがつ

おぞうに　たべたら
おしょうがつ

おもちが　のびる
おしょうがつ

おもちを　やいて
おしょうがつ

おもちが　おいしい
おしょうがつ

小学二年てほん

北條正浩　書

「日新」（にっしん）

☆レッスンポイント

意味…日々に新しくなっていくこと。

あけましておめでとうございます。二〇二〇年の始まりです。今年は東京オリンピック・パラリンピックがあります。楽しみですね。

※　※

日…たて画は、一画めより二画めをやや長く、ほぼ平行に書きます。よこ画は、等間隔に書きます。

新…扁と旁のよこ幅はほぼ同じですが、たては旁を長くします。扁と右端をそろえると、旁とケンカになりません。

筆順

一 冂 日 日

亠 立 立 辛 新 新 新

小学三年手本

福岡俊介書

「万物」（ばんぶつ）

☆レッスンポイント

万物とは宇宙に存在するすべてのことや、ありとあらゆることを言います。似たような言葉に森羅万象などがあります。

※　※

万…一画目は右上がりに書き、終筆をしっかりと書きましょう。また二画目のハネは直角にハネましょう。

物…「牛」の二画目はやや右上がりに書き、その中央に三画目を垂直に書きましょう。旁の左払いはどれも同じ間隔で書きましょう。

筆順

一 一 ㇇ 万

丿 ㇇ 牛 牛 牛 牛 物 物 物

小学四年手本

荒井久雄書

「初笑い」（はつわらい）

☆レッスンポイント

新年あけましておめでとうございます。

本年が皆様にとって、常に笑いに満ちた幸多き年となりますようお祈りいたします。

※　※

初…一画めの点に間をあけて二画めを書く。四、五画めは近づけて小さく書く。「刀」は扁の上下に空間をあけて書く。

笑…「竹」はやや扁平に書く。「天」の横画と左右の払いとの交わりを文字のほぼ中心にして書く。左右の払いはのびやかに書く。

い…二つの画の中の空間を広くとる。線が直線的にならないよう気をつける。

筆順

丶 ㇇ ネ ネ 初 初

丿 ㇇ ㇇ 竹 竹 笑 笑

小学五年手本

平石彰之書

「歌留多」（かるた）

☆**レッスンポイント**

新年あけましておめでとうございます。

令和になって初めてのお正月ですね。

どんなカードゲームのかるたがあるか調べて遊んでみましょう。

※　※

歌…左側の二つの「可」の大きさと、扁と旁とも縦長に。

留…「卯」を「田」よりも幅を広く。「田」の左右の縦画はやや内に。

多…上部をやや横に、下部は長めに。

筆順

小学六年手本

赤澤豊書

「永久不変」（えいきゅうふへん）

☆**レッスンポイント**

意味…いつまでも果てしなく続いて変わらないこと。

※　※

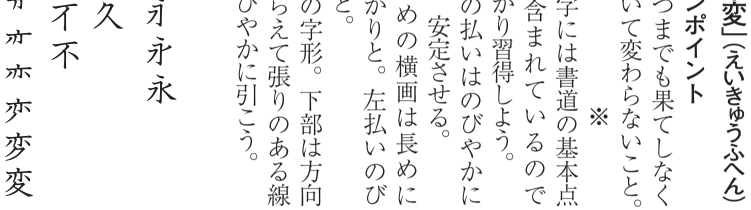
永…この字には書道の基本点画が含まれているのでしっかり習得しよう。

久…左右の払いはのびやかに書き、安定させる。

不…一画めの横画は長めにしっかりと。左払いのびのびと。

変…縦長の字形。下部は方向をとらえて張りのある線でのびやかに引こう。

筆順



中学（一・二・三年）手本（楷書）

神長雪華書

「弱肉強食」
（じゃくにくきょうしょく）

☆レッスンポイント

「弱肉強食」とは、弱い者が、強い者の犠牲になることをいいます。

※　※

弱…旁の方をやや大きく幅広に書きます。扁・旁の点の位置は、三画めの転折の真下に書くようにします。

肉…「人人」の交点が文字の中心になります。下の「人」は、やや小さく書き、下部に空間を作ります。四画、六画めは止めます。

強…扁は狭く、旁はそれよりもやや幅広く書きます。上部はそろえますが、旁の下を少しあけます。旁の横画は、ほぼ等間隔に書きます。

食…一、二画めは、直角に開き、その交点と三画めの点が中心になります。二画めは払い、最終の画は止めるのが美しい形です。

☆出品のきまり

▽清書には「支部名・個人は県名又は市名・学年・段級・姓名」を書きます。

▽会員は毎月清書一枚を出品して、「段・級」を受けます。優れた作品は成績名簿に○がつき、段級が上がり、特に優秀な作品には最優秀賞や特選や賞がつきます。

▽各学年の決められた毛筆課題手本を半紙に、硬筆課題手本を硬筆用紙に書きます。

▽はじめて出品する時は「新」、次からは決まった級または「再」と書きます。

☆おねがい

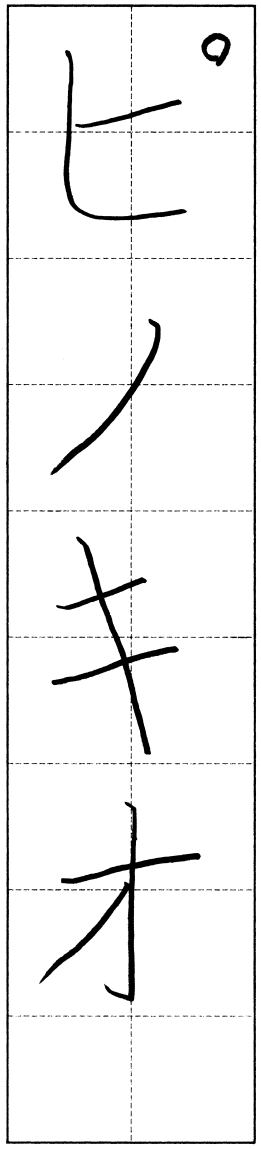
作品を書き上げ後、昇級した場合、毛筆書きも鉛筆書も新しい段級に訂正ください。どちらか一方を直しますと間違いのもとになります。

※毛筆書きの訂正は鉛筆ではなく赤でお願いします。

次号予告（二月号課題）

幼年・小一年	こ　た　つ
小二年	天　体
小三年	動　作
小四年	見　覚　え
小五年	お　得　意　芸
小六年	星　雲　銀　河
中学部	天　下　無　敵（楷書）

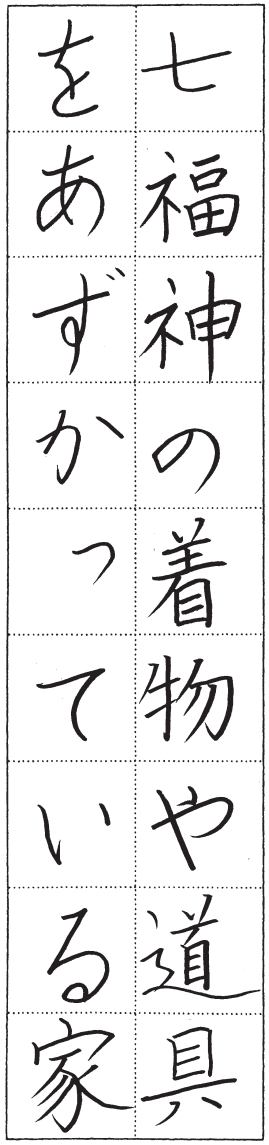
硬筆科　幼年・小学一・二年手本（黒色えんぴつBか2Bで書いて下さい）



成島　北水　書

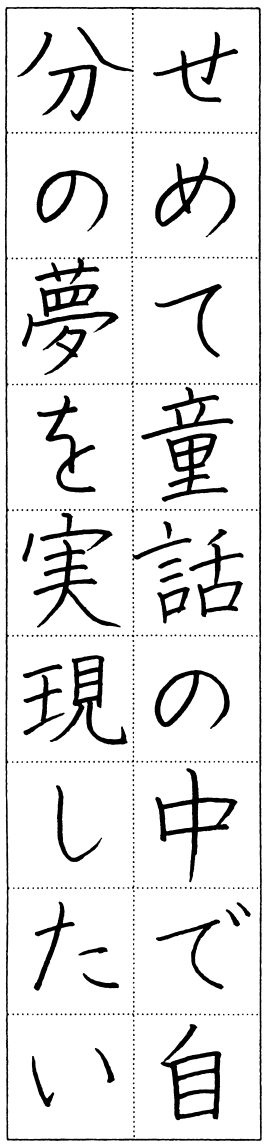
☆お願い…低学年の「支部名・学年・氏名」は左欄外に楷書で補足書きして下さい。

硬筆科　小学三・四年手本（黒色えんぴつBか2Bで書いて下さい）



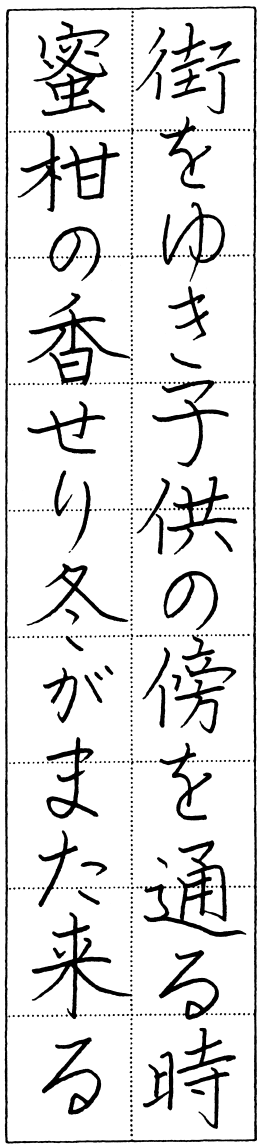
日賀野　千恵子　書

硬筆科　小学五・六年生課題（黒色のサインペン・万年筆・ボールペンなどで書いて下さい）



日賀野　琢　書

硬筆科　中学一・二・三生手本（黒色のサインペン・万年筆・ボールペンなどで書いて下さい）



赤澤　豊　書

☆出品のきまり

▽出品は一人1枚です。
▽清書には消しゴムを使わないで下さい。
▽臥龍会選定硬筆用紙を必ず使用して下さい。
▽毛筆と同じ段級を書いて下さい。
※四月〆切より、硬筆科の段級は毛筆科とは別になります。
※四月より五年生以上は筆記具の指定が変わります。

☆臥龍会硬筆科選定用紙一冊（50枚）190円
冊数を明記の上、送料は加えて現金書留または振替で本部までお申し込み下さい。郵送の場合3冊以上となります。

送料　3冊　180円
4～12冊　360円
13冊以上の場合は本部へお問い合わせ下さい。

令和元年　臥龍年間賞発表

令和元年度、臥龍年間賞が決定しました。これは１月号～12月号までの集計です。
この点数は、半紙部（楷書・行書・草書・かな）の１席３点、２席２点、３席１点）条幅部（課題・自由・臨書・創作漢字・創作かな）の１席５点、２席４点、３席３点、４席２点、５席１点が得点となります。条幅創作研究科（漢字・かな）の出品回数を１科につき１点加算いたします。
したがって（　）内の点数が出品回数および加算された点数となります。（例、１ケ月、漢字・かな創作両科出品の場合２点加算）創作科は発表の月（２月号～12月号）となります。
◇対象は漢字・かな、教範・特師範の方。（例、漢字特師範・かな師範の場合、漢字のみ加算）
◇昇級試験点数に創作研究科出品回数を加算します。漢字・かな、教範・特師範・師範試験を受験される方はなるべく創作研究科に出品ください。
◆上位10席までの方と特師範上位の２名の方は２月開催の『躍龍たちの宴』にて表彰します。

■過去臥龍年間賞大賞受賞者（現在出品者４名）

岩上　智和 79（10）	髙橋　智子 73（20）	和賀　幸恵 67（20）	髙根澤深幸 50（10）

■臥龍年間賞受賞者及び上位得点表（範位は令和01年10月号現在）

順位	氏　名	教特師	得点	創研	氏　名	教特師	得点	創研	氏　名	教特師	得点	創研
1	野地　翔田	教範	84	(10)	野沢　安喜	教範	36	(20)	木村　多伊	教範	28	(18)
2	小池　功逸	教範	57	(8)	佐藤　香月	教範	36	(10)	篠崎　純子	教範	28	(20)
3	山下　睦未	教範	56	(10)	大原　綾月	教範	35	(20)	吉澤　千夏	特師範	28	(9)
4	中村　禮子	教範	55	(20)	小野　悦子	教範	32	(20)	鈴木　鳴鳳	教範	27	(20)
5	佐藤　友美	教範	47	(20)	柴田　響水	教範	32	(20)	神山　和子	特師範	27	(20)
6	大輪　　司	特師範	46	(10)	豊田　右歸	教範	30	(9)	亀井　信子	特師範	27	(8)
6	増岡　弘子	教範	46	(20)	長棹　芳枝	教範	30	(19)	廣瀬　夢和	特師範	26	(14)
8	青木　泰子	教範	39	(20)	荒嶋　仁美	教範	29	(10)	床井　貴子	特師範	25	(10)
9	古橋　洋舟	教範	38	(20)	竹原　春香	教範	29	(10)	山田　千代	教範	25	(10)
10	山下　敬起	教範	37	(10)	五十嵐天類	特師範	28	(10)	以下省略			

■臥龍年間賞大賞受賞者一覧

昭和54年	赤澤　豊	平成元年	赤澤　豊	平成11年	吉田　竹溪	平成21年	髙橋香代子
55年	池谷　流外	２年	赤澤　豊	12年	石川　子澄	22年	神長　雪華
56年	関根　光石	3年	関根　光石	13年	中津原軒陽	23年	福岡　俊介
57年	赤澤　豊	4年	舘沼　天游	14年	猪又　宏孟	24年	柏﨑　麗泉
58年	赤澤　豊	5年	赤澤　豊	15年	山口　子晴	25年	北山　未晨
59年	赤澤　豊	6年	鈴木　源泉	16年	猪又　澪舟	26年	髙橋　智子
60年	赤澤　豊	7年	大輪　無涯	17年	同点持越し	27年	髙根澤深幸
61年	赤澤　豊	8年	久津美碧洋	18年	手塚　雲龍	28年	小田林尚華
62年	赤澤　豊	9年	赤澤　寧生	19年	廣岡　道外	29年	岩上　智和
63年	赤澤　豊	10年	郷間　大悠	20年	吉田　長子	30年	和賀　幸恵

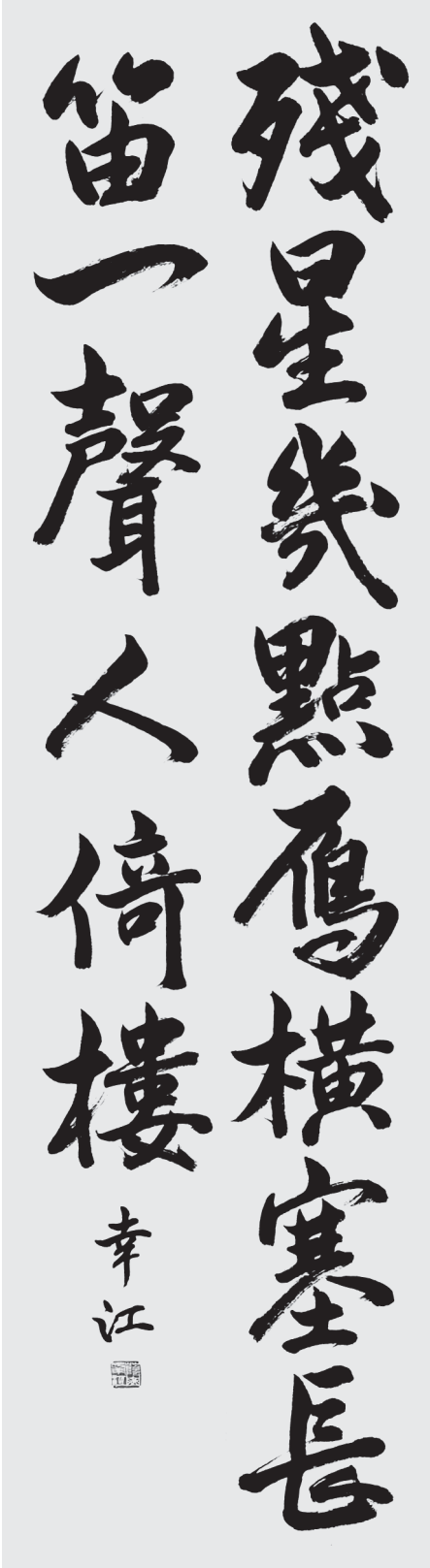
特　選（条幅部・11月〆切分）

課題科（一部）

龍門　小池功逸氏

墨が深く入り込み、リズム感のある躍動した運筆に圧倒されました。行も通り筆意一貫し、「飜」を渇筆で書いたところや落款で密度を高め引き締めているところも作品効果をあげています。お見事です。（郷間大悠選評）

課題科（二部）



翔芸　蔭山幸江氏

奇を衒うことなく穏やかに運筆されており、実に悠揚な雰囲気の佳作。（柏﨑麗泉選評）

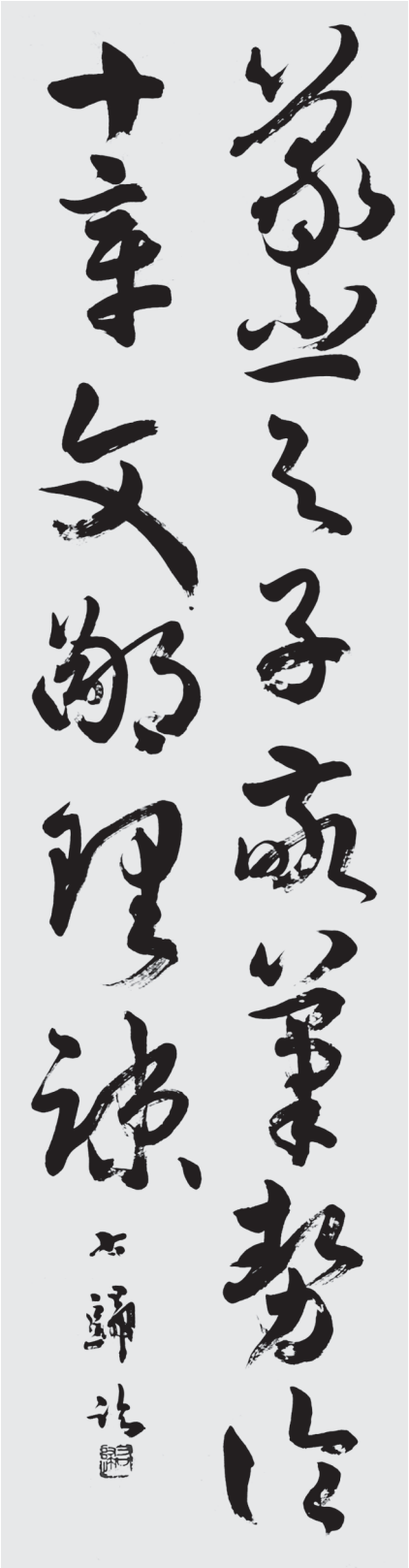
特　選（条幅部・11月〆切分）

自由科

龍門　野地翔田氏

しっかりと運筆し、上部に余白を整理して味わい深くされている。気脈一貫。（鈴木源泉選評）

臨書研究科



悠豊　豊田右歸氏

原帖に迫る観察力の確かさは群を抜き、かつ筆力共に溢れ敬服する。（大輪無涯選評）

優秀作品（半紙部・教範・特師範）

晴　教範　塚田　伸子氏
力感溢れた線、太細のバランスに一日の長あり。（大輪無涯選評）

朴　特師範　田代　磨沙氏
筆圧の利いた伸びやかな線で好感度あり。（大輪無涯選評）

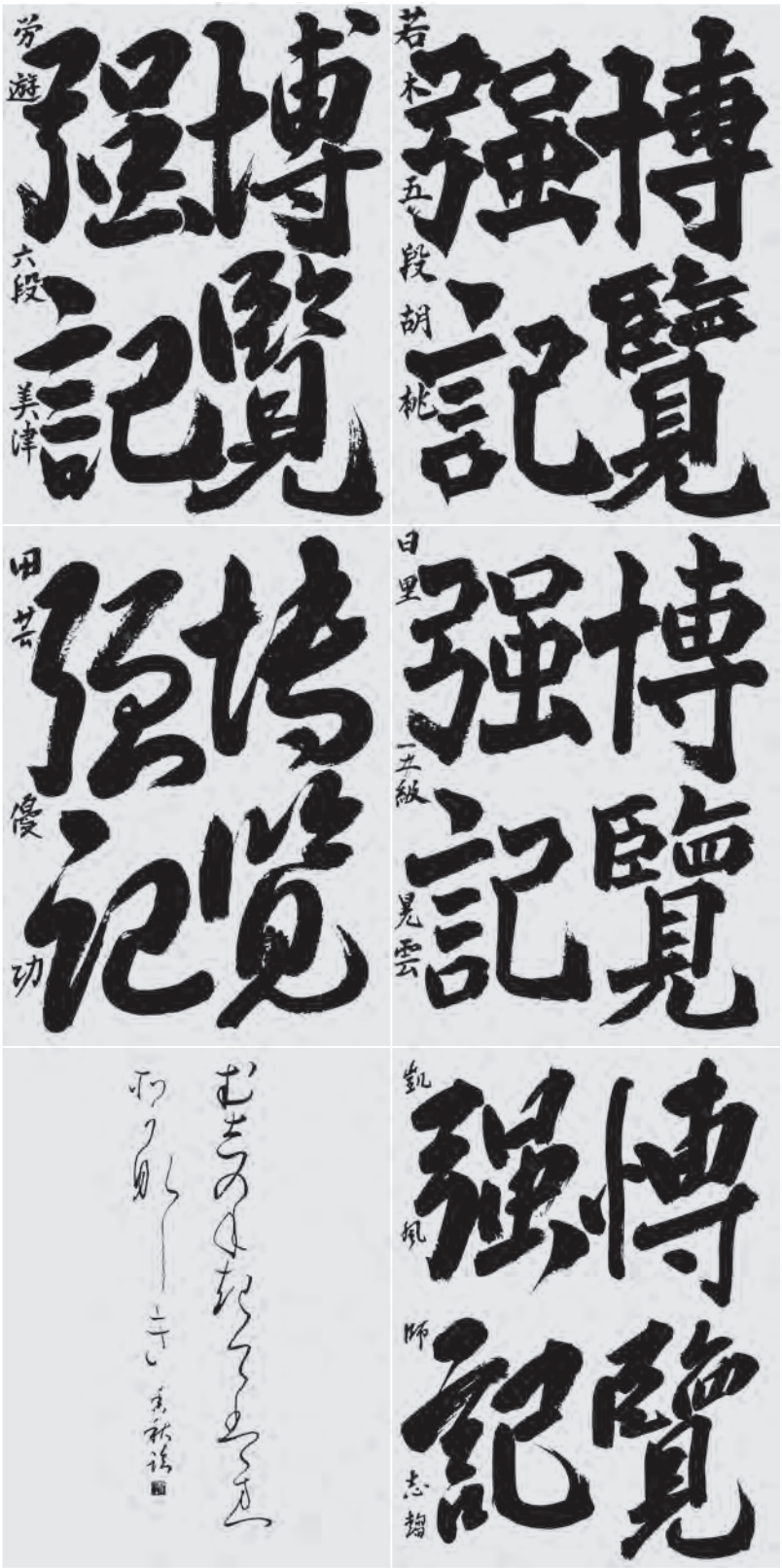
朴　教範　岩上智和氏
力強く筆勢豊かで躍動感があって良い。終始一貫した運筆が調和し明るい作。（鈴木源泉選評）

竹風　特師範　金子　清氏
直線と曲線を品良く組み合わせて趣がある。一点の「ゆるみ」も見せてない。（鈴木源泉選評）

楽豊　教範　小熊　伸子氏
肥痩・潤渇など羊毛筆の特性を駆使し興趣深い。やや曲線過剰が気になる。（吉田竹渓選評）

高芸　特師範　佐藤八寿子氏
筆線に生気みなぎり立体感ある逸品。字形を正方形にまとめたのは一考。（吉田竹渓選評）

特　選（半紙部）



若木　五段　川俣　胡桃氏
メリハリの利いた線が躍動、運筆に澱みなく文字造形も美しい。（郷間大悠選評）

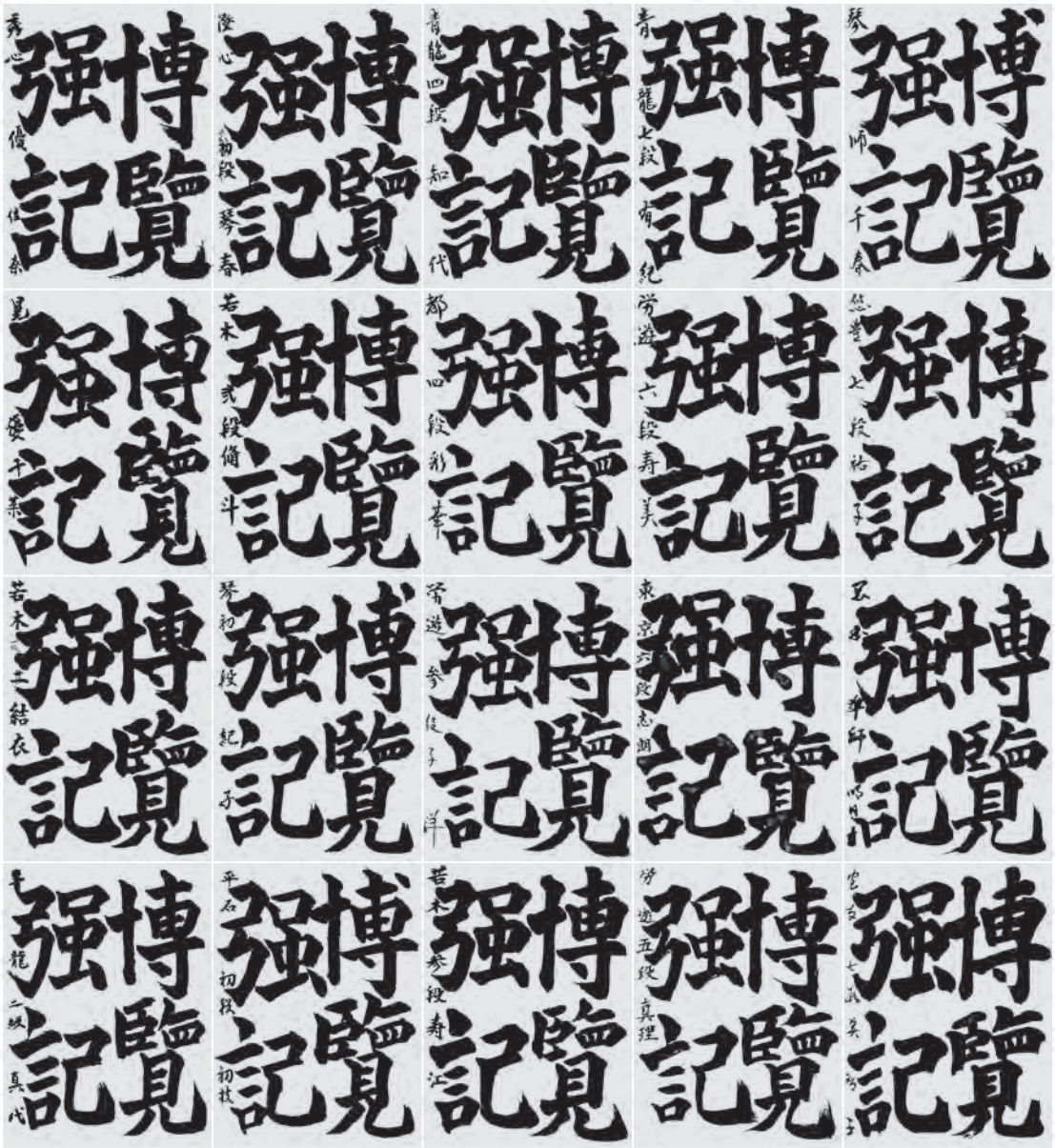
労遊　六段　福田　美津氏
重厚な線で気概を感じる。生気がある。（水沼龍峰選評）

日里　一級　鈴木　晃雲氏
作中に側筆と直筆を内在させ、細身の線で爽やかに纏められた。（柏崎麗泉選評）

田芸　優級　江連　功氏
筆の上下動見事。迷い無く終始一貫した明快な作です。（石川子澄選評）

凱風　師範　木村　志趨氏
穏やかでバランスのとれた運筆で良くまとめている。伸び伸びして明るい。（鈴木源泉選評）

虚心　師範　島崎　香秋氏
原本を緻密に観察され、大胆な書き出しと後半の切れ味が好対照。行の筋もピシャリと決まっている。（日賀野琢選評）



首位評

楷書科

大輪　無涯　選評

教範～準師範

○千春氏　実直な姿勢で取り組まれ、堂々とした作。
○祐子氏　筆力雄渾、的確かつ書品高雅群を抜く。
○明日香氏　おだやかな運筆に魅かれた。伸びも十分。

郷間　大悠　選評

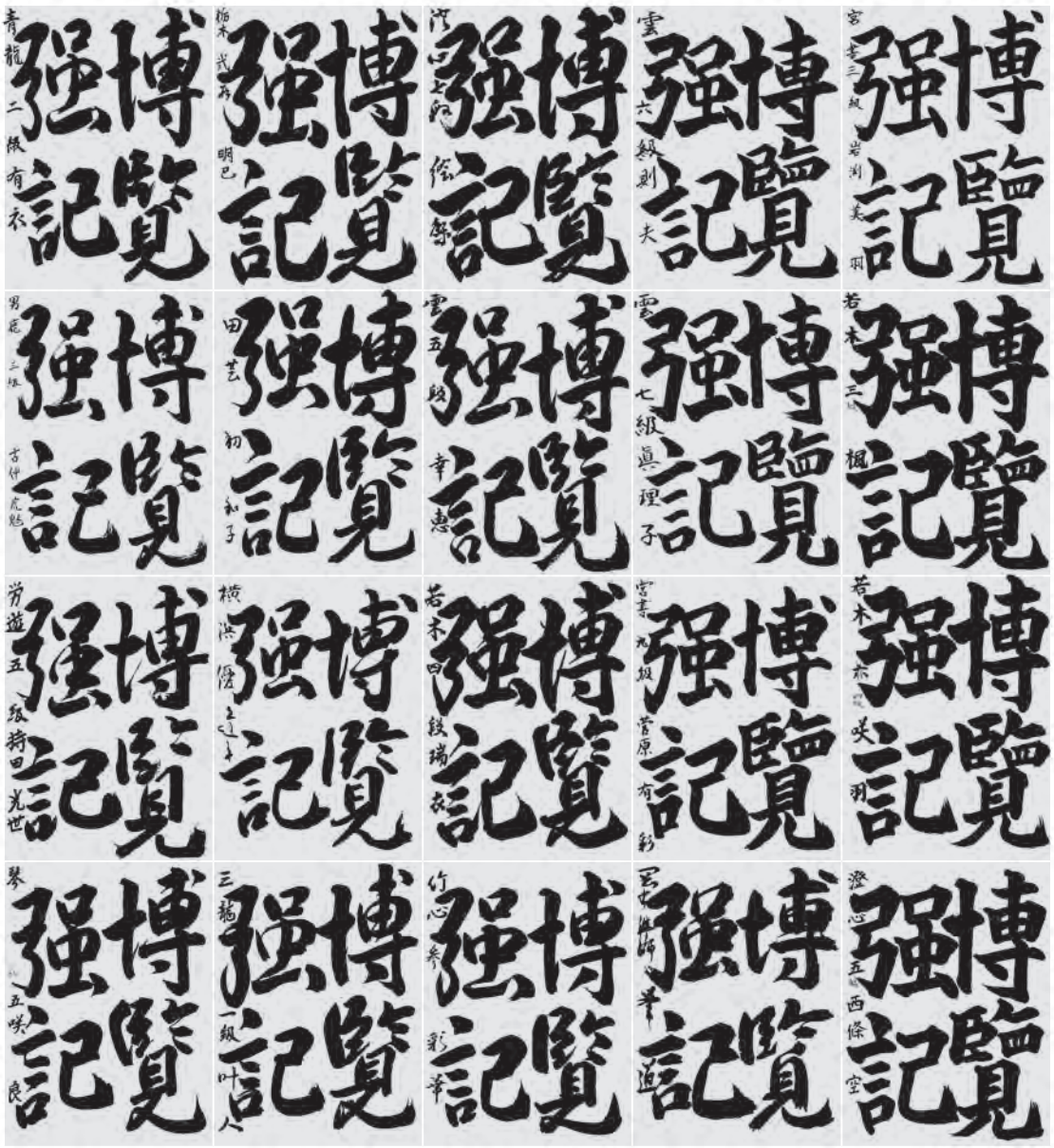
七段～初段

○美智子氏　練り込みのある線質でスケール大きく安定感抜群。好感の持てる力作。
○有紀氏　線の切れ味見事。堂々とした楷書作。
○寿美氏　表現大きく安定した作風で佳。余白も生きている。
○志朗氏　安定感のある結体。大きな構えで堂々と運筆され力感十分。
○真理氏　のびやかな線で淡々と書かれ大らかな表現で良い。
○知代氏　打ち込み強く線が健康的。燃焼度が高く生き生きしている。
○彩華氏　線が爽快。文字造形も美しく明るく大らかな作。
○子洋氏　筆圧の利いた暢びやかな切れのある線で纏められた。
○寿江氏　大きな構えで堂々と運筆され力感十分。
○琴春氏　スケール大きく、重量感あるタッチで力感十分の作。
○脩斗氏　ゆったりとした運筆で、線が良く喰い込み安定している。
○紀子氏　丁寧に運筆し、線に深さがあり結体も良い。明るく大らかな作。
○初枝氏　字形安定しバランス良い。線に喰い込みが見られてきたことは良い方向に行っている。

柏﨑　麗泉　選評

優級～九級

○佳奈氏　線がガサガサしているが粗い訳ではない。突いた線に魅力がある。
○千葉氏　北魏の楷書を意識しての鋭い起筆と紙に喰い込んだ線に気概を感じる力作。
○結衣氏　懐の広い構成。練度の高い重厚な線がすばらしい。安定感抜群。
○真代氏　暢びやかで気脈が一貫しており、颯爽とした作。



○美羽氏　細身の線でバランス良く端正に仕上がっています。少し大胆さが欲しいです。
○楓氏　構成大きく剛快であり、筆が佳く沈み豊潤な作。
○咲羽氏　一画一画入念に着実に運筆されています。気力充実の作。
○空氏　筆の弾力を生かし力強い線で紙面いっぱいですが、明るく仕上がっています。
○則夫氏　筆圧の変化が巧みであり運筆に余裕があります。各字の字形は美しいですが、紙面中央に寄せ過ぎました。
○眞理子氏　自然な運筆により、おおらかで穏やかな作。
○有彩氏　字中の白を追い出し、緊張感のある結体に迫力を感じます。

行書科

教範～準師範　　**鈴木　源泉　選評**

○峯道氏　気負いなく素直な筆致で、明るいまろやかで味がある。安定感のある作。

七段～初段　　**水沼　龍峰　選評**

○絵梨氏　たっぷりとした墨量で気迫充分、正に自信作。
○幸恵氏　運筆に無理がなく好作。四季の布置も調和した作。
○瑞衣氏　気合の入った使筆で力強さが良く表現されている。
○彩華氏　おだやかな線で流動美がある。豊かさを感じます。
○明巳氏　全体の構成よく運筆のリズム佳、好感のもてる作。
○和子氏　筆力と動きがうまく調和し書線の味が目にとまりました。

優級～九級　　**松島　美舟　選評**

○逢舟氏　自然な筆致で造形に無理がなく、安定した書き振りです。
○叶人氏　堂々とした揺るぎない運筆でエネルギッシュにまとめています。
○有衣氏　筆捌きが見事で洗練された美しさを感じます。
○虎魅氏　しっとりとした落ち着きのある線でとても穏やかな雰囲気の作品です。
○光世氏　抑揚のきいた線がしっかり紙面に食い込んでいて、白が輝いてみえます。
○咲良氏　四文字を紙面一杯に伸びやかに収めていてゆったりとしています。

○佳子氏　力強く大胆な運筆で生き生きとしています。
○奈緒美氏　均整のとれた字形、線質も豊かで味わいがあります。
○典子氏　粘りのある線で迷いのない筆運び、どこか古典の香りを感じます。

草書科

教範～準師範　　**吉田　竹渓　選評**

○好恵氏　強直、潤渇、遅速など用筆で堂々たる存在感で出色。
○さとみ氏　切れ味深く、潤達な用筆の安定作。やや堅さは気になる。

七段～初段　　**神長　雪華　選評**

○絹子氏　ゆったりとした筆遣いで、線が深く、スケールも申し分ない。
○三枝氏　味わい深い線質で、どっしりと構えた存在感のある作。
○圭子氏　濃墨による、強く切れ味のよい線で見事。
○真里氏　スケール大きく堂々と書いていて、線に温かみがある。
○道子氏　作品構成が素晴らしい。条幅作品を見てみたい。
○祐理子氏　動きのある力強い線で、躍動感あり。
○美知花氏　しっとりとした感じで、落ち着きと品の良さを感じる。

優級～九級　　**石川　子澄　選評**

○秀美氏　ゆったり運筆。穏やかな作です。
○三男氏　字座良い。運筆に迷い無く、調和のとれた全体感が窺えます。
○永人氏　穏やかな動きの中に爽やかさが加わり、明るく仕上がりました。
○光世氏　悠々と自然体。気脈一貫しています。
○史子氏　穏健な運筆。明るい作です。
○栞那氏　切れ味良い線。スカッと引き締まっています。
○眞理子氏　運腕大きく力強い送筆。伸びやかです。
○由美子氏　真剣さが伝わります。筆の回転が加わると更に佳です。

首位評

かな科

教範～秀位　　日賀野　琢　選評

○天綏氏　線質には書人の気持ちが表出されるものだが、今作、実に清らかで美しい。魅力的な逸品。

○夢和氏　やや側筆気味の筆遣いが特徴的。淡い墨色も功を奏している。

○満紀氏　冒頭がやや甘めだが、二行目の流れと線質が引き締まって良い。落款はやや左に離すと余白締まる。

○千春氏　実にシャープで綺麗な線質。潤渇の妙あり、紙面が明るく光る。

逸位～九位　　平井　子晴　選評

○俊子氏　高雅で気品溢れる臨書です。

○キヨ氏　丁寧に潤滑までもよい形臨をされて最後まで流麗です。

○彩華氏　なめらかで忠実。真摯な形臨に手慣れた自信が伺えます。落款は少し大きいでしょうか。

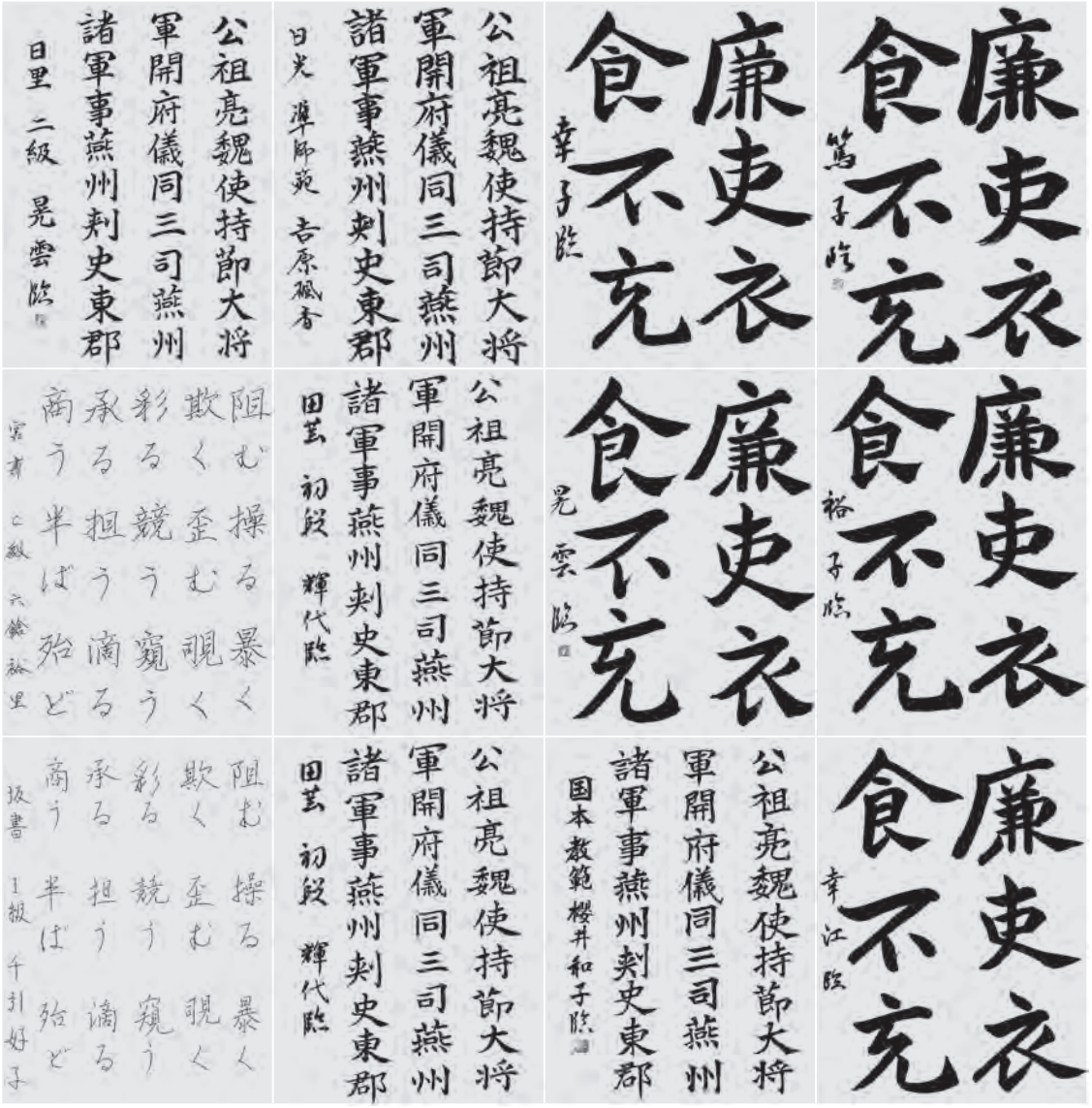
○琇香氏　少し小ぶりなのではありますが、転折と連綿に注意し生彩があります。

○得代氏　一行目下方が右寄りになりましたが、よく観察して美しい形臨です。落款共に左右の空きも調和させ味わい深い作品です。

○春枝氏　墨は薄いが流れは魅力溢れている。「介」の入筆に注意すれば最高です。

○節子氏　紙面に対する表現力、挑戦、安定感があり、高い力量です。押印欲しい。

○眞知子氏　リズミカルで下へ流れる鮮やかな作品。二行目「し」だけ少し中心に来た部分が惜しいです。



半紙臨書研究科

髙橋香代子　選評

○篤子氏　扁平な文字、ゆったりと穏やかな右払いや点画。とても注意深く観察された好臨です。

○裕子氏　潤筆でゆったりと運筆し、素朴さもある。原帖を良く理解している臨。

○幸江氏　無理なく自然な運筆で特徴を表現した臨。

○幸子氏　転折を柔らかく結構させた伸びやかな臨書です。

○晃雲氏　スッキリ纏めた美しい臨。転折部分に丸みが欲しいと思いました。

細字科

櫻井　素玄　選評

○和子氏　基本点画がしっかりと運筆されている見事な臨書作。

○楓香氏　筆使い文字の組み立てを良く観察された臨書作。

○幸江氏　文字間の余白の明るい臨書作。

○輝代氏　一画一画の細かい筆使いまで研究された臨書作。

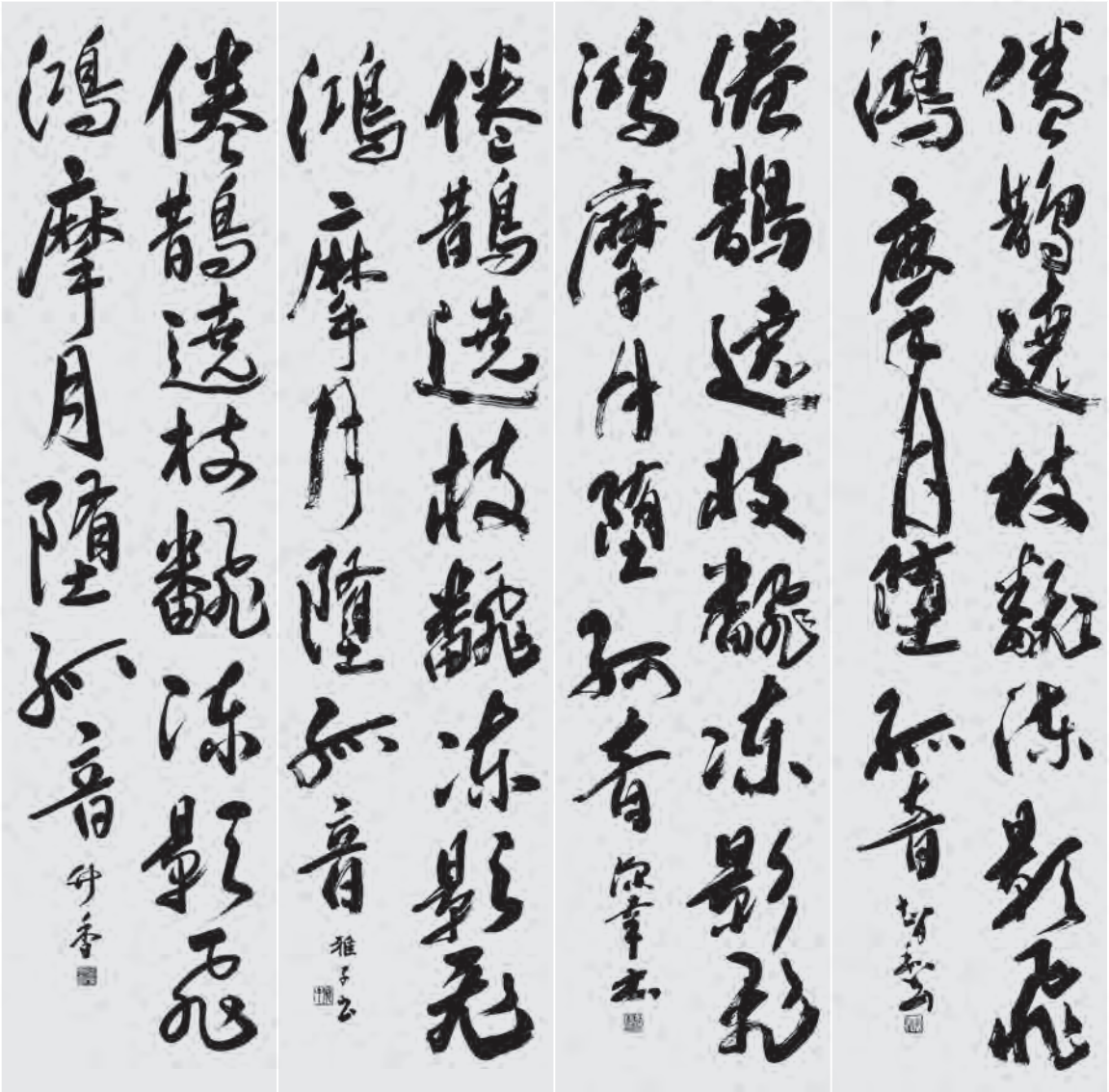
○晃雲氏　原帖を良く観察されて、ゆったりと運筆された臨書作。

硬筆科

吉田　長子　選評

○裕里氏　字形も良く大きく表現され、リズム感もすばらしい。

○好子氏　手本に忠実に書かれ、心がなごむ。線質もすばらしい。



条幅部課題科（一部龍）　　**郷間　大悠　選評**

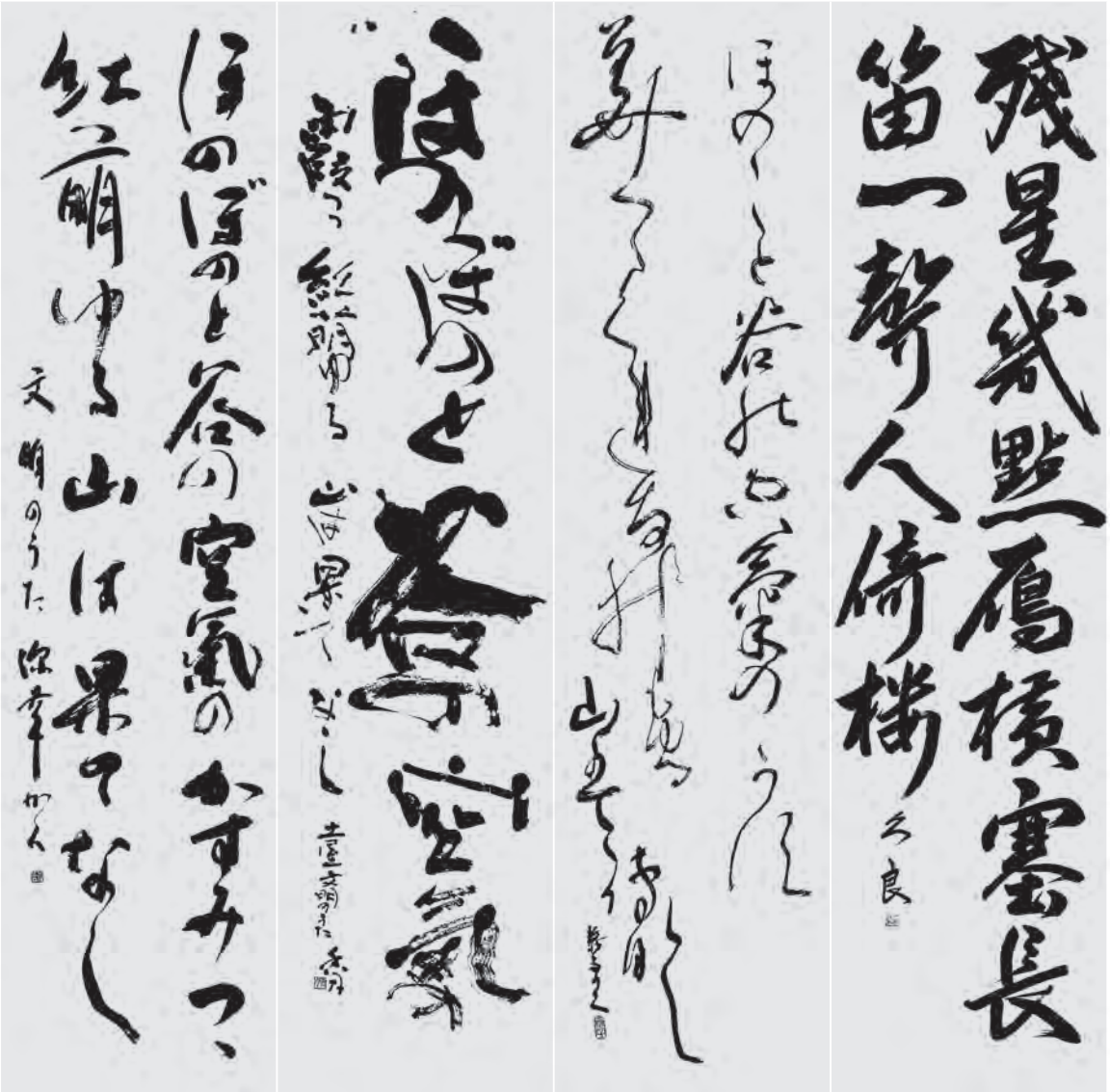
○智和氏　氣脈の貫通を考え一気に書かれた快作。「倦、枝、影、摩、弧」のところでたっぷりと墨を下ろし作品の効果をあげている。

○深雪氏　単体で、筆圧を十分にかけてまとめられた。墨量の潤渇と文字大小の変化で効果を上げている。

条幅部課題科（一部虎）　　**吉田　竹渓　選評**

○雅子氏　字粒の大小・肥瘦も自然で、筆技豊かな中に落ち着いた風格を感じた。

○竹香氏　用筆に安定感あり。墨色の変化や運筆の遅速など、更なる筆線の多様性を期待。



条幅部課題科（二部地）　**吉田　長子　選評**

○久良氏　筆力十分伸びやかな運筆で明るくまとめ安定した作。

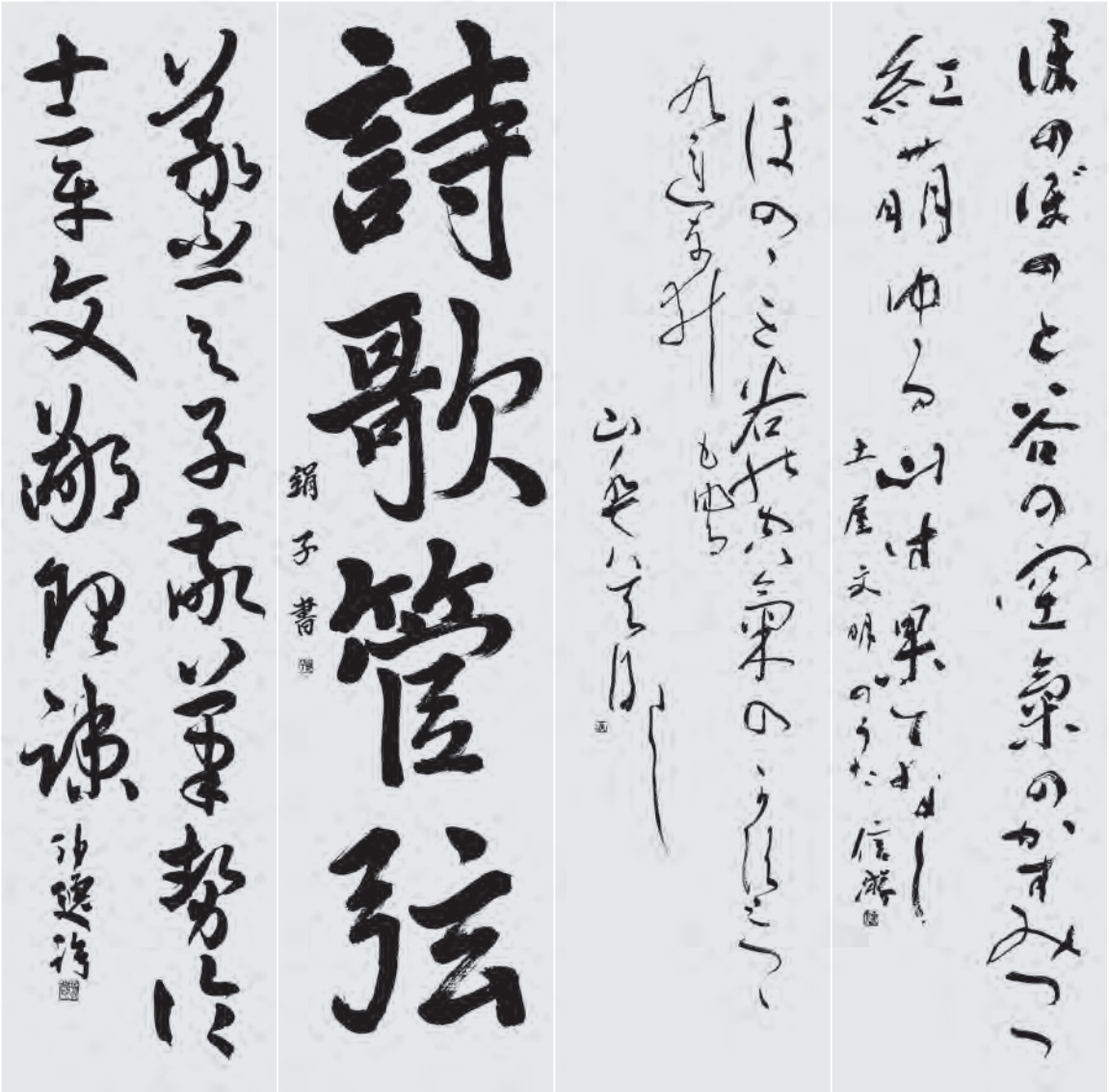
条幅部自由科（龍）　**鈴木　源泉　選評**

○泰子氏　終始一貫引き締まった書線である。三行目の終結部分に墨量で強調され印象深い。

○香月氏　文字の大小を調和しつ、強調部分セットされている。柔らかな書線で明快作。

条幅部自由科（雪）　**松島　美舟　選評**

○信游氏　余白を大きく生かし、飾り気のない渇筆で淡々と纏めあげた中に、線の確かさが光っています。落款の入れ方には少し疑問が残りました。



○深幸氏　豊かな書線で氏独自の世界をたっぷりと表現されていて見事です。少し下部の墨量が気になりました。

条幅部自由科（月）　水沼　龍峰　選評

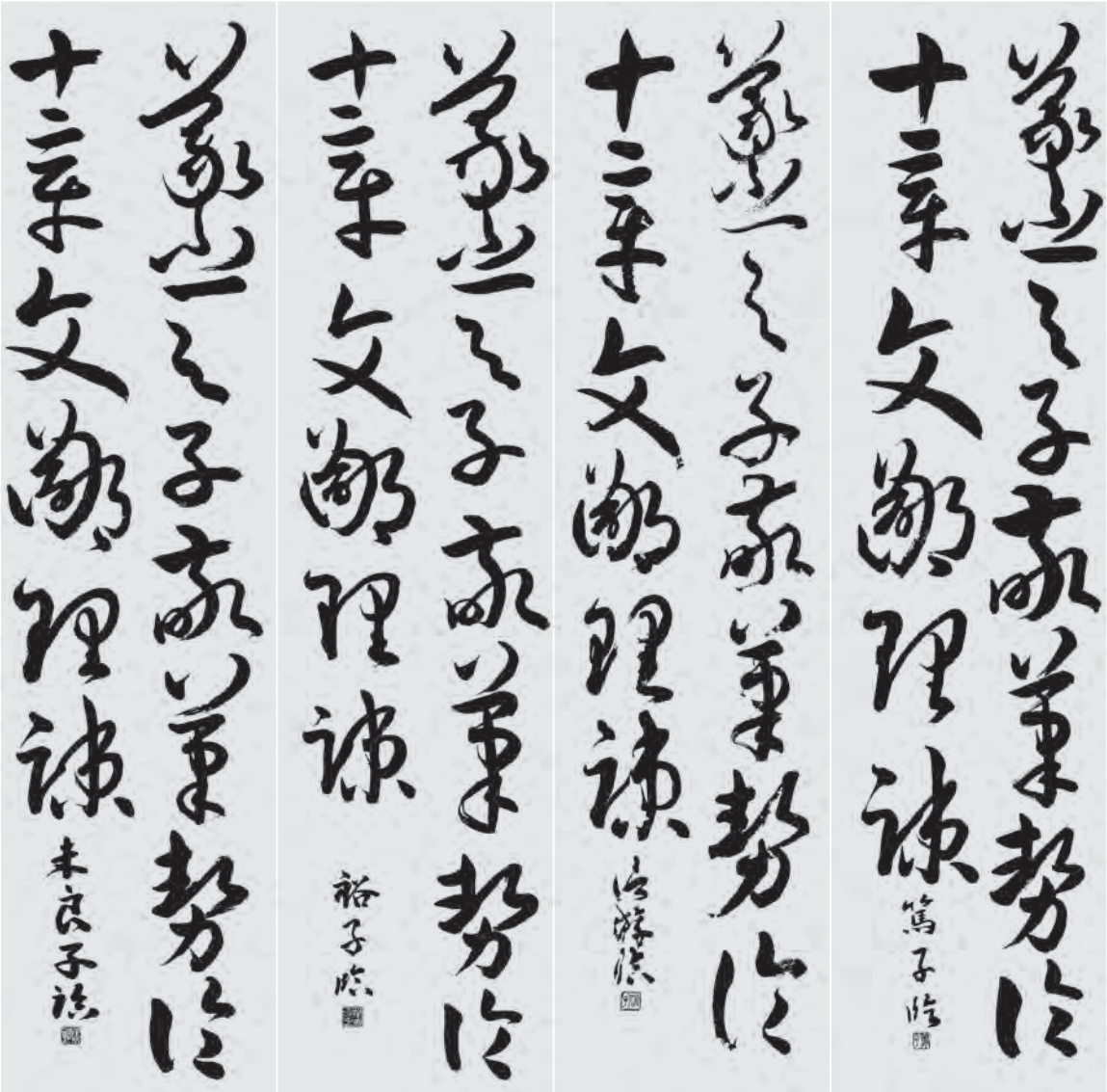
○英一郎氏　繊細にお手本を分析し自分のものにしている、線の勢い、流れ万全です。

条幅部自由科（花）　櫻井　素玄　選評

○絹子氏　自然な筆使いの中に生命的な響きを感じさせる作。

条幅部臨書研究科（龍）　大輪　無涯　選評

○功逸氏　切れのある細線が輝き懐も広く的確な臨書。



条幅部臨書研究科（虎）　神長　雪華　選評

○篤子氏　原帖を忠実に再現、スケールも大きく模範的な作。

○信游氏　何といっても味わいのある線が魅力的。表現の壺を心得ている。

条幅部臨書研究科（天）　石川　子澄　選評

○裕子氏　読帖力有り。忠実に臨書する姿勢が表出されています。

条幅部臨書研究科（地）　石川　子澄　選評

○未良子氏　原帖に迫ろうとする気概を感じる力強い臨書です。

躍龍たちの宴24

やく　りゅう　うたげ

新年あけましておめでとうございます

●

臥龍会新春の風物詩『躍龍たちの宴』、今年は、早や24回目。
今年も開宴時間を少し早めて、**午後3時** スタート！

審査員の先生方・支部の先生方・会員のみなさんの懇親交流の新年会
今年も審査員の色紙や書道用品の抽選会などのアトラクション、楽しく和やかな歓談…
昨年の年間賞受賞者や教範表彰・特師範・師範位獲得者の紹介もあります
お誘い合わせの上、気軽にご参加ください

躍龍 ── それは『臥龍』で一緒に躍動する会員のあなたです

●

と　き：令和２年２月16日㈰
　　14：30受付開始　**15：00開宴**
ところ：ホテルニューイタヤ
　　〔宇都宮市駅前大通り　☎028(635)5511〕
会　費：6,000円

開宴時間が早くなりました

●

主　催：「躍龍たちの宴」実行委員会
臥龍会本部審査員
連絡先：臥龍会本部内「躍龍たちの宴」実行委員会
〒320－0867　宇都宮市大寛２－６－21　☎028(633)2005

●

「臥龍」の会員であればどなたでもご参加いただけます。

参加ご希望の方は、
①【官製はがき】か【専用はがき】〔支部・お名前（連記可）・性別・ご住所・電話を銘記〕
②【本部への電話】〔支部・お名前・性別・ご住所・電話をおうかがいします〕
いずれかの方法で１／24㈮までに本部あてお申し込み下さい。
遠方でご希望の方には、ご宿泊(有料)の手配もいたします。お問い合わせください。

特選の感想

アンケート
①入会年月 ②首位賞の回数 ③特選の回数（科目） ④無休出書の年月 ⑤一番長かった段級 ⑥好きな法帖名 ⑦下級者への助言 ⑧職業 ⑨年齢

龍門　山下　睦未（教範）

この度は漢字創作研究科特選をいただき、誠にありがとうございます。これもご推挙くださいました赤浬豊先生をはじめ本部の先生方、また日頃より熱心にご指導いただいております日賀野琢先生のお陰と思っております。心より御礼申し上げます。

今回は金文を素材に立体感のある作品に仕上げようと試みました。この賞を励みにより一層、精進して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭援のほどよろしくお願いいたします。

⑧寺務職員　⑨三十一歳

雨情　小野　悦子（教範）

この度は、かな創作科特選を頂きまして誠に有難うございました。思いがけぬ受賞に大変嬉しく、また大変驚いております。これも日頃より熱心にご指導くださいますよ吉田竹溪先生・長子先生のお陰と感謝しております。

毎月締切りに追われていますが欠書だけはしないようにと心掛けています。これからも少しでも味わいのある、かなの美しさ、品のある書をめざして、亀の歩みのごとくコツコツと精進していこうと思っています。今後もご指導のほどよろしくお願い致します。

①昭和六十二年のころ　④欠書なし　⑥書譜・関戸本古今集
⑦臨書を学び沢山の引き出しを持つ　⑧教諭　⑨七十三歳

悠豊　鈴木　恵子（師範）

楷書科特選を賜り誠にありがとうございました。御推挙下さいました本部の諸先生に深く感謝致します。赤澤豊先生の悠豊教室に通い二十年、多くの先輩たちとの出会い、その人達からさまざまな思いをいただき現在に至っております。その長い年月、いつも熱心に指導して下さる赤澤豊先生に畏敬の念を感じております。これからも先生の指導のもと、書友の皆様と楽しく続けていけたら幸福と感じます。

①平成二年　②数回　③数回　⑥龍門造像記

鹿緑　矢野　和子（七段）

この度は、楷書科特選をいただきありがとうございました。私は、毎月のお手本臥龍の中の楷書、行書、草書だけを書くことにしています。時間あれば仮名も書いてみたいと思っていますが、なかなか書けなくて!! これからはこの賞をはげみとしてますます努力して行きたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

①平成十五年十二月　②八～九回　③二回　④欠書なし　⑤七段
⑧主婦　⑨八十四歳

西方　三品璃々亜（初段）

この度は、行書科特選をいただきまして誠にありがとうございました。また、教室でご指導頂いている、荒木・中村先生方にも感謝の気持ちで一杯です。

小学五年生の頃から始め、高校生となった現在も続けている書道は、

私にとって心が安らぐ大切なものとなっています。思うように書けず悩んだこともありましたが、今回の特選を頂き改めて続けてきて良かったと感じることができました。

これからも、自ら書を学び一層精進して参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

①平成二十四年八月学生部入会　平成二十九年四月一般部入会
②三回　③初めて　④なし　⑤優級①十一ヶ月　⑥九成宮禮泉銘
⑦精神一到　⑧学生　⑩十八歳

潮　井村美枝子（準師範）

この度は草書科特選を頂き誠にありがとうございます。ご推挙下さいました本部の先生方に心より御礼申し上げます。これも偏に日頃熱心にご指導くださいます砂山公子先生のおかげと大変感謝しております。

今回の受賞を励みにこれからも精進して参りたいと思います。ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

①平成八年四月八級　②三回　③二回　④無　⑤準師範　六年
⑥孫過庭　書譜　⑦書を楽しんで継続すること　⑧会社員
⑨六十八歳

平石　郷間　初枝（七段）

この度は、草書科特選を頂きまして、誠にありがとうございました。思いがけない知らせに、大変驚いております。

ご推挙下さいました本部の諸先生方に心より御礼申し上げます。また、日頃より熱心にご指導下さいます郷間大悠先生に心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに努力して参りたいと思います。今後とも、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

①平成三十一年一月　②　数回　③初めて　④欠書なし　⑧主婦

鶴峰　小野　章（特位）

この度は、かな科特選を頂き誠にありがとうございました。

思いがけない朗報に驚き、嬉しさ一杯です。ご推挙下さいました先生方に心より感謝いたします。

今回の受賞は、日頃から熱心にご指導を頂いております水沼龍峰先生のお陰であり、厚くお礼申し上げます。

これを機に、なお一層精進したいと思っています。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

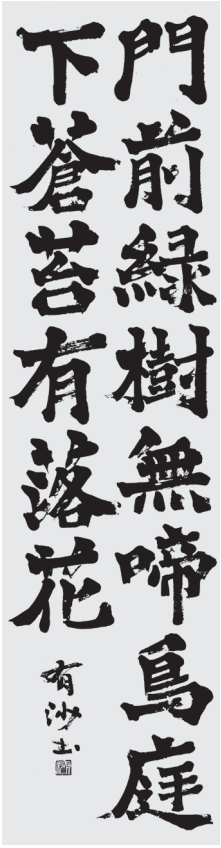
①平成三十年十月　②三回　③初めて　④欠書なし　⑦継続は力なり
⑧無職　⑨七十八歳

――十二月号特選掲載のもの――

令和元年　秋　期

教範（同人理事）推薦

アンケート
①入会年月　②首位賞の回数
③特選の回数（科目）④特師・師範・準師在籍年数　⑤一番長かった段級　⑥下位者への助言　⑦抱負
⑧職業、年齢



生　豊田　有沙（教範）

この度は、漢字部教範にご推挙頂き誠にありがとうございました。これも偏に、日頃より熱心にご指導下さる赤澤寧生先生と会長をはじめ本部の諸先生方、朴豊会の皆様のお陰と感謝申し上げます。

これを一つのスタートとして、これからは創作力にも力を入れ楽しく学んでいきたいと思っておりますので、今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

①平成六年頃　②数回　③三回　④師範三年、特師範二年　⑤四段　⑥色々な作品を見る事。楽しむ事　⑧会社員

平石　塚原　光江（教範）

この度は、漢字部教範にご推挙頂き誠に有難う御座いました。

日賀野会長からのお電話を頂いた時は、予想もしなかった朗報にびっくりしまして、喜びをかみしめています。

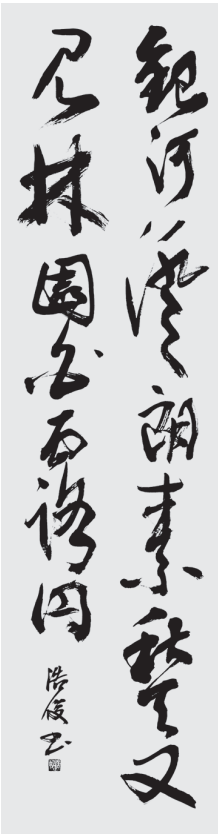
日賀野会長をはじめ、本部の諸先生方に厚くお礼申しあげます。

以前から念願だった教範位を頂くことができました。これも偏に熱心にご指導して下さいました。郷間大悠先生に対し深く感謝しております。

これからも教範の名に恥じぬように精進して参ります。

今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

①平成二十三年一月　②七回　③三回　④準師範一年半、師範六カ月　⑤五段　⑥日々努力　⑦古典臨書



宮書　佐竹　浩俊（教範）

この度は、漢字部教範にご推挙頂きまして誠にありがとうございました。

これも偏に、先師猪又達生先生、そして、現在の師である猪又宏孟先生のお陰であります。さらに、宮書の諸先輩、

書友の皆様の輪の中に加えていただいたことが、飽きっぽく、無器用な私が、ここまで続けられたことと深く感謝致します。

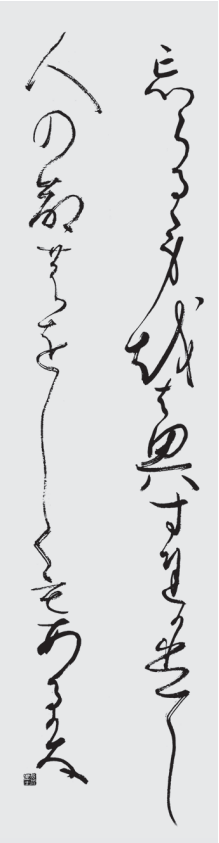
昔、遥かに見上げた教範位です。本当にうれしいです。がしかし、「ああ、そうか。」という心境でもあります。一歩々々の連続が、さらに続きます。今後とも、本部の先生方、猪又宏孟先生、諸先輩の方々、よろしくお願い申し上げます。

①昭和五十九年十月　②三回　③なし　④師範二十五年・準師範一年半　⑤師範　⑥からだに気をつけて継続　⑦古典の勉強　⑧寺院住職五十九歳

宮書　鈴木　萌（教範）

この度は漢字部教範にご推挙頂きまして誠に有難うございます。琢先生、会長先生からのお電話、祝電、そして封書と、届くごとに合格できたことの実感が少しずつ湧いてきました。日頃、優しくご指導下さいます猪又宏孟先生に心より感謝申し上げます。また、審査にあたられた本部の先生方に厚く御礼申し上げます。憧れの先輩方と同じ教範という位にはなりましたが、まだまだ未熟です。これからも先輩方を追いかけ、今まで以上に精進して参りたいと思います。今後共ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

①平成二十一年八月学生部より九級編入　②十数回　③なし　④師範七ヶ月・準師範一年　⑤特師範五年　⑦中央展への出品　⑧ネイリスト・二十三歳



書友　長谷川東風（教範）

この度は、伝統ある臥龍会かな部教範位にご推挙いただきありがとうございました。

これまで、会長先生をはじめ本部諸先生、神長・松島・竹澤先生には御懇切なご教示をいただき心からお礼を申し上げます。

数年前、余暇活動の一つに「大人の休日倶楽部」のかな講座に参加しました。そこで一緒になった方から刺激を受け、会の創作研究科に休まず出書するようつとめてきましたが、いまだに思うような作品が書けません。

これを契機に尚一層精進して参りたいと思います。今後共ご指導を賜わりたくお願い申し上げます。

②数回　④準師範八年位、師範二年半　⑤準師範

⑥継続、他の書会等の作品展見学　⑦創作や古筆の勉強

特師範の感想

①入会の年月 ②首位賞の回数 ③特選の回数 ④準師範在籍年数 ⑤一番長かった段級 ⑥下級者への助言 ⑦これからの抱負（具体例…無休出書を続ける、中央展への出品等） ⑧職業、年齢

楽豊　小巻　丁敬（特師範）

この度は漢字部特師範にご推挙頂きまして誠に有難うございました。　祝電を頂いた時には、師範の時とは違い、心底安堵するとともに、嬉しさがこみあげてきました。日頃より厳しくも細部にわたり熱心にご指導くださいます赤澤豊先生に心より感謝申し上げます。また、本部諸先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回は最後まで自分の波に乗れず、大変苦労しましたが、無事合格することができました。これからも赤澤豊先生ならびに本部諸先生方のご指導の程宜しくお願い申し上げます。

①平成二十七年六月　③二回　④師範半年、準師範半年　⑤師範　⑦新しい分野に挑戦、古典の臨書

労遊　伊沢　祥子（特師範）

この度は、漢字部特師範にご推挙頂き有難うございました。私には、まだ難しいかなと不安に思いながら、勇気を出して挑戦しただけに、本部からの合格の速報が届いた時は、喜びで胸がいっぱいになりました。これも、日頃より熱心にご指導してくださいます赤澤豊先生に心より感謝申し上げます。これからも、この感激を忘れずに、あせらず少しずつ進めるよう努力して参りますので、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

①平成二十年　②数回　③二回　④師範六ヶ月　⑤七段　⑥継続　⑦臨書と創作の勉強　⑧主婦

生　浅野　優子（特師範）

この度は、漢字部特師範にご推挙頂きありがとうございました。これも偏に、熱心にご指導頂いている赤澤寧生先生と本部の諸先生方、そして書友の皆様の温かい励ましのお陰と心より感謝申し上げます。

苦労して仕上げた作品でも、自分の未熟さに溜息が出る日々ですが、楽しむことを忘れずに学んで参りたいと思います。今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。

①平成十九年二月　②十数回　③二回　④師範二年　⑤弐段　⑥継続すること　⑦創作課題　⑧主婦

王心　大関　桃貴（特師範）

この度は、漢字部特師範合格の速報をいただき誠にありがとうございます。

直ぐ支部の古関凌繁先生にご連絡致しました。大変喜んで頂きました。自分も昨年のリベンジでしたので胸に熱いものがこみあげてきました

古関凌繁先生の厳しく、熱心な御指導の賜と心から感謝申し上げます。

支部、書友の皆様のおかげさまだと思います。これからは創作に力を入れて精進いたしますので今後とも御指導の程よろしくお願い申し上げます。

①昭和五十九年十二月　②数回　③なし　④準師範七年　⑤師範　⑦創作　⑧六十八歳

雅　伊澤　玲子（特師範）

この度は、漢字部特師範にご推挙頂き誠にありがとうございました。

これも日頃より熱心にご指導してくださっている野沢安喜子先生、また本部の諸先生のお陰と心より感謝申し上げます。

これからも古典を中心とした幅広い作品に目を向け、いろいろな書体に触れ、その良さを吸収すべく努力していきたいと思っています。今後も、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

①平成二十六年十二月　③二回　④準師範一年　⑤準師範　⑥できるだけ多くの作品を鑑賞すること　⑦無休出書を続ける　⑧主婦

安心　岩上　千美（特師範）

この度はかな部特師範にご推挙いただき誠にありがとうございました。これも偏に常に熱心にきめ細かなご指導下さる吉田竹溪先生のお陰と心から感謝申し上げます。

今は臨書もですが、創作の難しさを実感しております。更なる上達を目指して今後とも精進していきたいと思います。これからも吉田先生をはじめ諸先生方にはご指導の程よろしくお願い申し上げます。

①平成二十三年十月　②九回　③二回　④準師範一年五ヶ月、師範一年　⑤逸位　⑥継続すること　⑦臨書と創作の継続、見る目を養うこと　⑧主婦　五十四歳

琉　山口　美圓（特師範）

この度は、かな特師範の報を頂きありがとうございました。これも偏に日賀野琢先生の暖かいご指導と本部の先生方のお陰と深く感謝しております。

かなは読めないし苦手と思って避けて来ましたが、年齢の事も有りまだ余力のあるうちにと思い挑戦し始めました。これからも上を目指して頑張ってゆきたいと思います。

①平成六年頃　②数回　③五回　④六ヵ月　⑤特位　⑥努力と継続　⑦古典の臨書と創作の勉強

師範の感想

①入会の年月 ②首位賞の回数 ③特選の回数 ④準師範在籍年数 ⑤一番長かった段級 ⑥下級者への助言 ⑦これからの抱負（具体例：無休出書を続ける、中央展への出品等） ⑧職業、年齢

西方　城田　聖華（師範）

この度は、漢字部師範にご推挙頂きまして誠にありがとうございます。祝電をいただいた際は、驚きと喜びで胸がいっぱいになりました。

これもひとえに、日頃より熱心にご指導下さる中村恵美子先生をはじめ、本部の諸先生方のお陰と心より厚く御礼申し上げます。

私にとって書とは、生涯学習です。書を志す者として、これからもより多くの古典に触れ、奥深さや素晴らしさを感じながら表現の幅を広げていきたいと思います。終わりなき書の旅を楽しみながら、より一層精進して参ります。まだまだ至らない点も多々あるかと存じますが、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

①平成二十四年四月　②二回　③なし　④準師範六ヶ月　⑤一級　⑥鑑賞の能力を養うこと　⑦古典の臨書と創作の勉強　⑧教職員　二十三歳

生　須藤　松嶺（師範）

この度は漢字師範にご推挙頂き有難うございました。思いがけない祝電を頂き大変驚きました。これも偏に日頃より熱心にご指導下さる赤澤寧生先生のお陰と心より感謝申し上げます。

これからもご指導の程よろしくお願い申し上げます。
①平成十七年七月　②四十六回　③七回　④準師範三年　⑤七段七年
⑥努力と継続　⑦臨書と創作の勉強　⑧主婦

栃木　根本　融沙（師範）

この度は、権威と実績ある臥龍会漢字師範にご推挙頂きましてありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻の程お願い致します。

二十六歳での石川善克先生との出会いは、筆を運ぶ際に無意識にお腹に力が入る感覚になる北魏の楷書との出会いでもありました。先生のご指導・ご助言のもと、習い始めてから数年経った頃同好の会の展覧会へ、さらに十年間が過ぎた頃から四十五歳頃まで、謙慎展、読売展、県の芸術祭等に出品させて頂きました。これらの事は、書の世界とのかかわり方を知らない私にとって、身に余る、貴重な経験でした。その後、曲がりなりにも「書く」ことを日々の楽しみとして続けて来られたのは、この時期から少しずつ身に付けた基本的な書の技法や古法帖からの学び方等に加え、意識が変わり書の奥深さを味わえるようになってきたおかげだと感じております。
①平成二十七年七級　⑧無職　六十四歳

鶴峰　和田　浩（師範）

この度は、漢字部師範にご推挙頂き誠にありがとうございました。

これも偏に熱心にご指導下さる水沼龍峰先生のお陰と心より感謝申し上げます。

また、鶴峰会の諸先輩の皆様にも深く感謝いたします。

更に上を目指して精進して参りたいと思っておりますので龍峰先生はじめ、本部の諸先生方、今後共ご指導の程よろしくお願い申し上げます。
①平成二十四年十二月　②三十数回　③二回　④準師範六ヶ月　⑤六段
⑥無休出書　⑦創作課題への挑戦　⑧無職　七十二歳

澄心　松島　絹子（師範）

この度は、漢字部師範にご推挙頂き有難うございました。本部の諸先生方に感謝申し上げます。作品提出して間もなく人生初めての祝電を頂き驚きと共に大変感激致しました。

これも偏に温かく細かく御指導下さる小林香風先生のお陰と感謝しております。これを励みにこれからも一層努力して参りますので今後ともよろしくお願い申し上げます。
①平成十六年四月　④準師範八年　⑥継続すること　⑦条幅臨書を書く
⑧自営六十歳

琉　川﨑　美津（師範）

この度は、かな師範にご推挙頂きまして誠に有難うございました。これも日頃からご指導下さる日賀野琢先生のお陰と心からお礼申し上げます。

かなが書けたらという思いがずっと心の底にあり、こうして師範試験に挑戦する機会に恵まれた事、幸せに感じます。書友の皆様にも励まされとても心強く感謝しております。これからも牛歩の如く歩みたいと思います。今後ともご指導の程よろしくお願い致します。
①四十年位　④準師範六ヵ月　⑤秀位　⑥継続　⑦古典の臨書・中央展への出書　⑧書塾

小中学生
今月の最優秀作品

●よろこびのひとこと

自分が最優秀賞をとったと母から連絡をもらった時はすごくびっくりしました。え？？と思って二度読み返した程です。私は書道が大好きなので、これからもっともっと上達していきたいです。

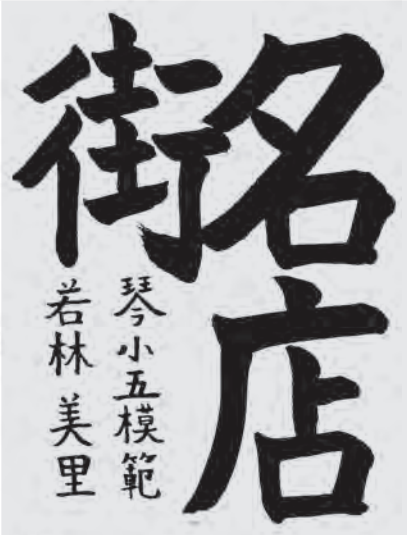
●指導…小熊武子先生のひとこと

〝好きこそものの上手なれ〟 まさに現実となった咲来さん、受賞おめでとう。少々遠のいていた筆に思いを込めて精進していってください。

優しさを感じさせる線でとても伸びやかに書けています。（松島美舟評）

私立品川女子学院中学校三年　岡田（おかだ）　咲来（さき）さん

模範級優秀作品

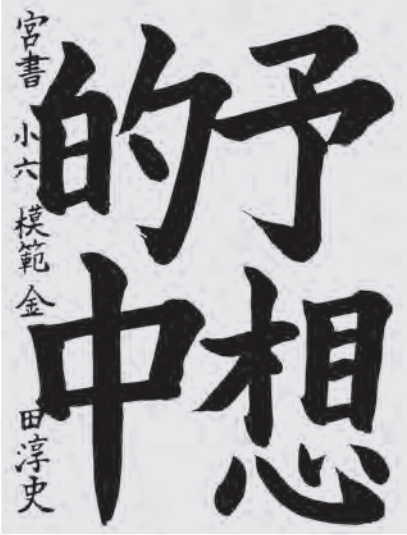


琴　小五　若林　美里さん

ていねいでバランス良く書けています。基本が出来ています。

青龍　中二　鈴木　咲那さん

重量感のあるタッチで均斉のとれた堂々とした作品です。

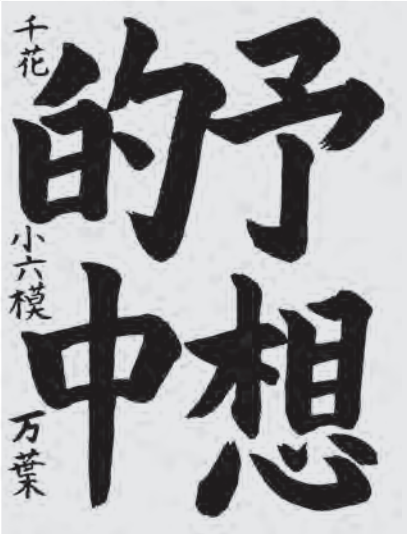


宮書　小六　金田　淳史さん

スッキリした冴えわたる作品。頭も明快でずばり予想的中！

琴　中二　坂入　乙愛さん

筆良く立ち、明るくのびやか、字形も見事に整っています。



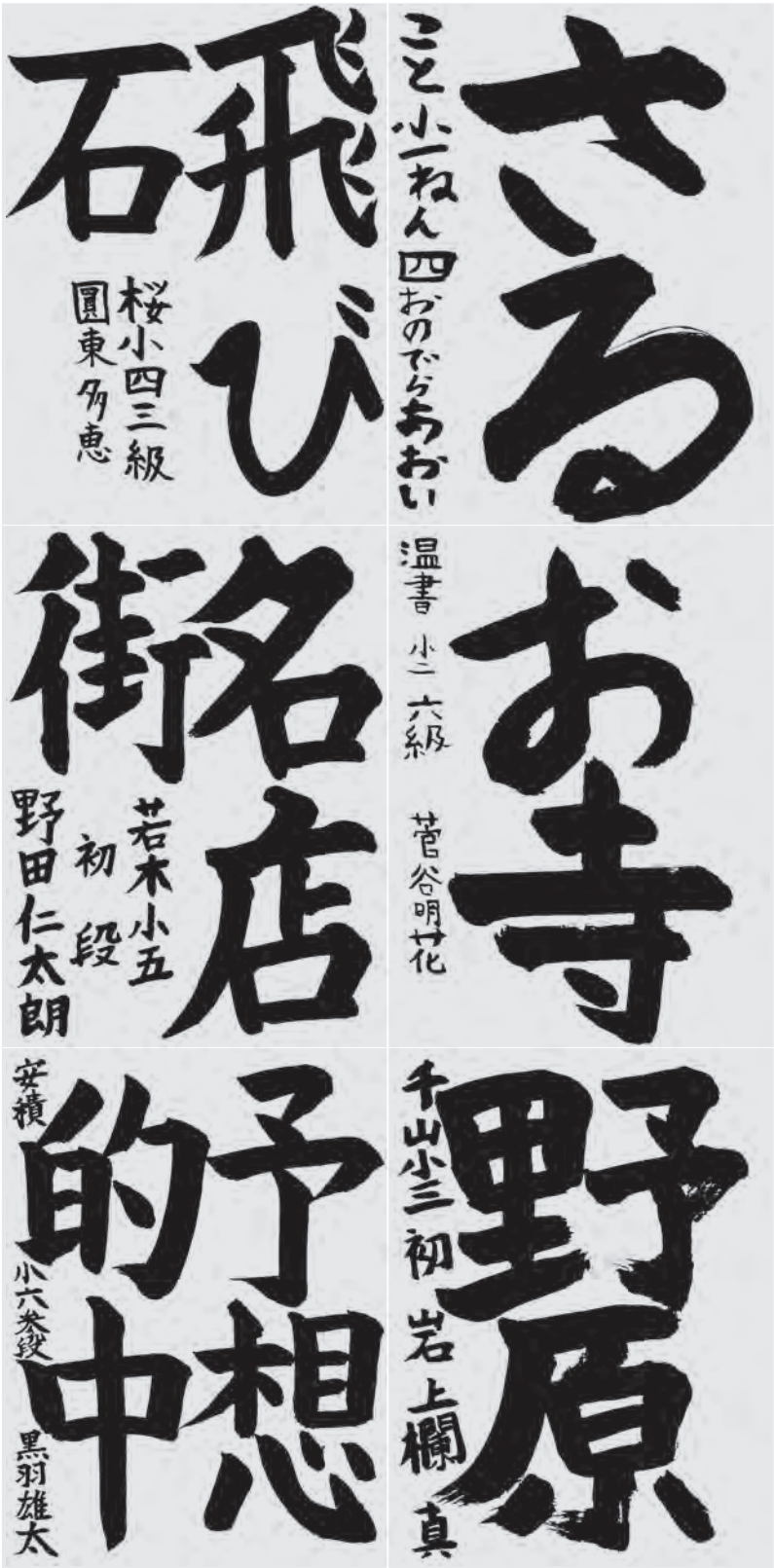
千花　小六　伊藤万葉さん

起筆から終筆まで見事な集中力で気持ちが行き届いています。

平石　中三　浅野　恋那さん

線が生き生きし、落ち着きのある魅力いっぱいの作品です。

特　選（小中学生）



琴　小一　四級　小野寺　葵さん

大きくのびのびと書けています。

いつも愛くるしい笑顔の葵君。礼儀正しく、真剣に取り組んでいます。これからの上達が楽しみです！（柏崎麗泉）

温書　小二　六級　菅谷　明花さん

おだやかにかけました。

特選はすごい事ですよ。お母さんと一緒に一生懸命書いた結果です。また上を目指してがんばりましょう。（旭谷明石）

千山　小三　初段　岩上　欄真さん

すごい迫力。字形良く生き生き書けました。

欄真、特選おめでとう。いつも一生けん命書いてるのに、つい怒ってしまいごめんなさい。だけど頑張った成果があったね。これからも兄（晴真）と一緒に続けていきましょう。（岩上智和）

桜　小四　二級　圓東　多恵さん

引きしまった線で、転折もしっかり書けておりスッキリとまとまりました。

書道を通して自分としっかり向き合い、毎週頑張っていますね。（箕輪紀寶）

若木　小五　初段　野田仁太朗さん

字形が整い、筆力もあり立派な作品です。

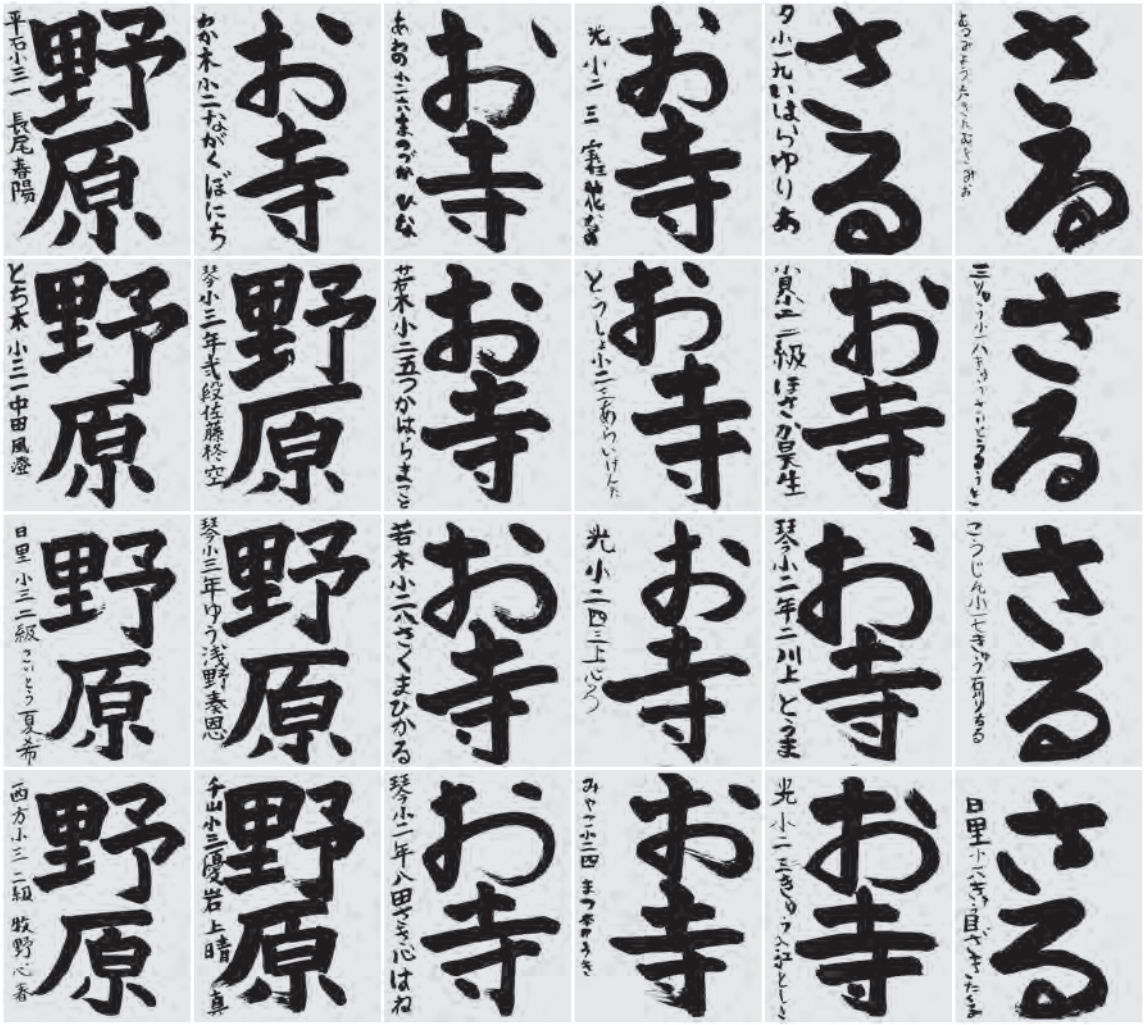
努力家の仁太朗君、特選おめでとう!!これからもその調子で頑張れ。（松島浩泉）

安積　小六　参段　黒羽　雄太さん

いかにも少年らしく明るく素直で心が澄みきってはつらつした快作。

一度教えたら呑込みが早く、常に向上心と素直さを備えたやさしい子。（本田研心）

毛筆優秀賞



優秀お清書評

幼・小一年　　平石　彰之　評

○北向さん　すなおなせんでじっくり書けています。
○齋藤さん　ゆったりとしたせんで書けています。
○石川さん　すみたっぷりとつけて書けています。
○目崎さん　ちからづよいせんでかけています。
○井原さん　なまえまでていねいに書けています。

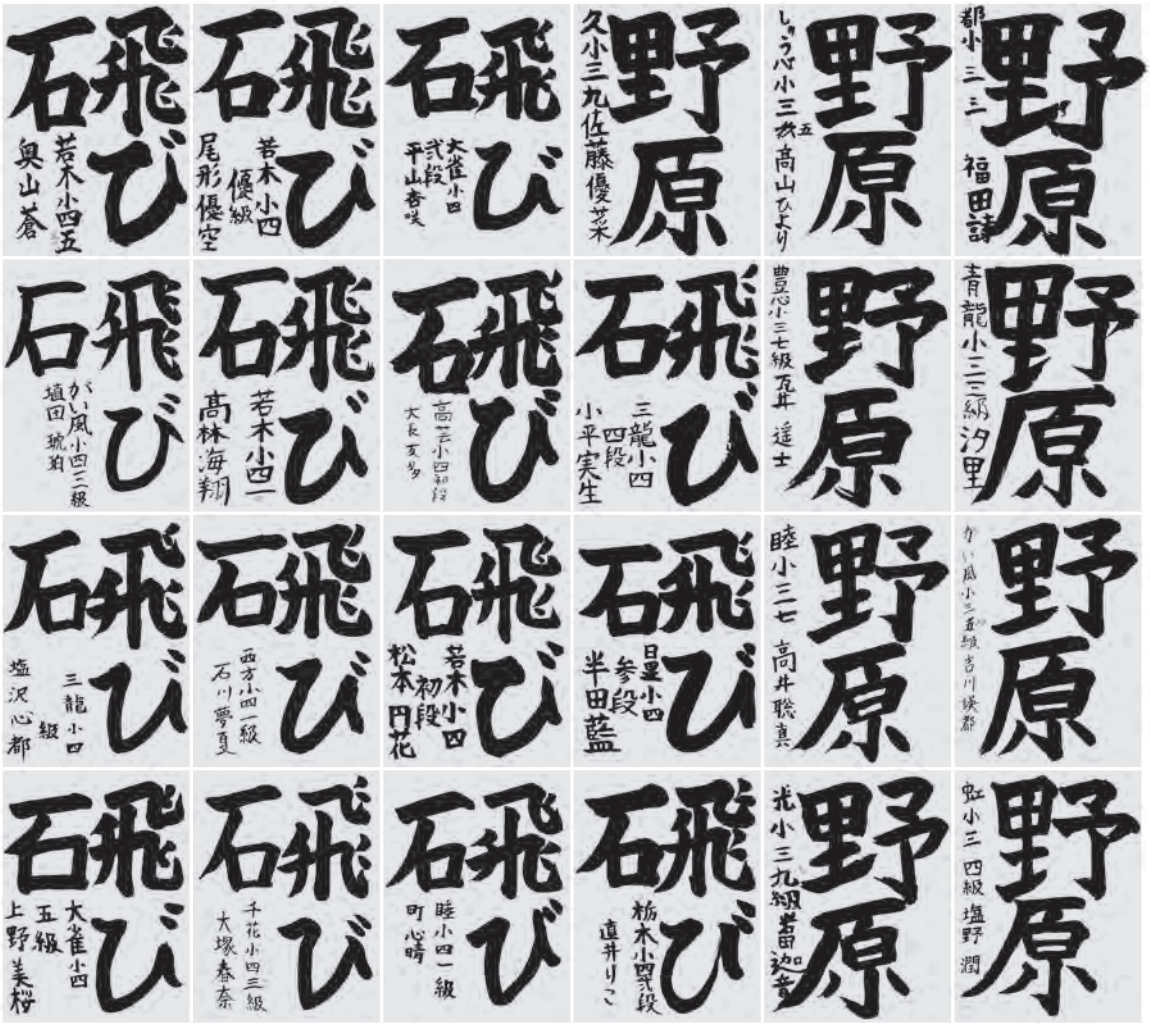
小二年　　成島　北水　評

○保坂さん　力強い線でかいてまとまりが良い。
○川上さん　筆、大きくうごきスケール大。
○入江さん　全体感がよいです。
○宝住さん　おちついた作になりました。
○荒井さん　ていねいにかけました。
○松本さん　スピード感あり良いです。
○三上さん　バランス良く書けました。
○松塚さん　しっかりかけました。
○塚原さん　ゆったりとおちついた作です。
○佐久間さん　のびのびとしっかりかけています。
○田﨑さん　スッキリ、さわやか。
○長久保さん　ていねいに、やさしくかけています。

小三年　　石川　子澄　評

○佐藤さん　太細の変化を付け伸びやかに書けました。
○浅野さん　一画一画気合十分です。
○岩上さん　本文名前共に、力いっぱい書けました。
○長尾さん　墨量十分で力強い作品です。
○中田さん　始筆、折れが素晴しい。この調子です。
○齋藤さん　真剣に書いている様子が伝わる良い作品です。
○牧野さん　落ち着いて最後迄書き通して、スゴイです。

毛筆優秀賞



○福田さん　紙面いっぱい使い、名前までしっかり書けました。
○木村さん　実に伸びやか。作品が大きく見えます。

四級～九級　**髙橋香代子　評**

○吉川さん　強い線でどうどうと書けました。名前も元気よく書きましょう。
○塩野さん　筆の入れ方、トメ、ハネがしっかり書かれた明るい作。
○高山さん　すなおな線でとてもていねいに書けています。
○瓦井さん　たいへん元気よく書けました。
○高井さん　筆使いしっかりした線でのびのび書けました。名前もじょうずです。
○岩田さん　半紙いっぱい元気はつらつの作。
○佐藤さん　本文も名前も大きく、とてもていねいに書けました。

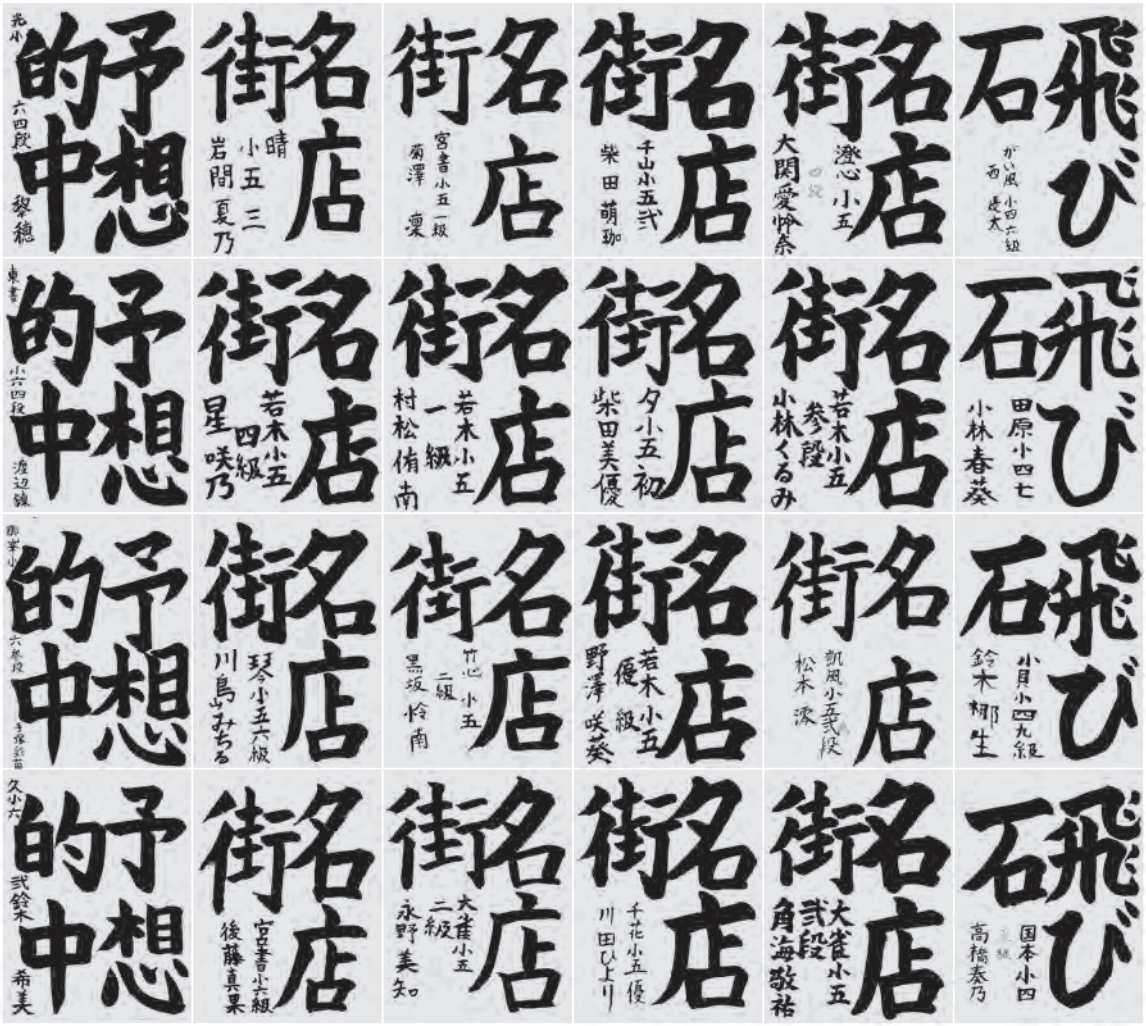
小四年　**櫻井　素玄　評**

○小平さん　力強い線で堂々と書けています。
○半田さん　緊張感伝わる運筆で書けています。
○直井さん　のびやかな線でスッキリと書けています。
○平山さん　素直な字で好感のある字に書けています。
○大長さん　深みのある線で大きく書けています。
○松本さん　安定した運筆でバランス良く書けています。
○町さん　生き生きとした線で明るく書けています。
○尾形さん　深みのある線で点画がしっかりと書けています。

一級～九級　**柏﨑　麗泉　評**

○高林さん　躍動感があり紙面いっぱいに堂々と書けています。
○石川さん　太い線で大きな構えで安定感抜群です。
○大塚さん　バランスの取り方が上手です。「石」がすばらしい。
○奥山さん　画数が多い「飛」をこんなに立派に書けるとは、高度な技術の持ち主です。
○植田さん　丁寧に書けており、名前も細部にまで注意を払っています。
○塩沢さん　一画一画強くしっかりと書かれています。名前も上手です。
○上野さん　大きく伸びやかに書けています。

毛筆優秀賞



○西さん
○小林さん
○鈴木さん
○高橋さん

小五年
○大関さん
○小林さん
○松本さん
○角海さんにまとまった作品です。
○柴田(萌)さん
○柴田(美)さん

優級～九級
○野澤さん
○川田さん
○菊沢さん
○村松さん
○黒坂さん
○永野さん
○岩間さん
○星さん
○川島さん
○後藤さん

小六年
○格和さん
○渡辺さん
○手塚さん
○鈴木さん

平井　子晴　評

線に勢いがあり、字形も整っています。バランスがよく、紙面いっぱいに明るくまとめました。

形が整い特に「飛」は背筋が伸びた美しい字形です。入会したばかりと思いますが、トメ、ハライきちんとできています。

一点一画力強く勢いに溢れています。とめ、ハネがしっかり書けて堂々としています。きれいな線でとてもていねいに書けています。筆力にはどきっとさせられました。とても健康的な作品です。元気にバランス良く書いています。リズムがあり、楽しんでいる線です。すっきりしていて見事に「名」と「街」をぶつけずに書けました。大きくもぶつからずに書けたところ最高です。

吉田　長子　評

力強い運筆で伸び伸びかけてすばらしい。素直な線で字形も上手です。細めですが丁寧に名前まで上手に書けています。半紙一杯に元気よく書けました。お手本に忠実に書こうとする心が伝わりました。一画一画丁寧に伸び伸び書けました。丁寧に書けていて落ちつきのある作です。本文名前まで、迫力十分すばらしい。大らかにバランス良く書けました。筆使い丁寧で本文名前共に明るく書けました。

吉田　竹溪　評

伸びやかで勢いを感じさせる迫力がみなぎる感動作。一点一画に気持ちを込めて、温かみと味わいに満ちた秀作です。入念な筆使いで派手さがなく、しかも中身が充実したよい作品です。明るくすなおな筆使いでこれからさらに上達まちがいなし。

毛筆優秀賞

○柿沼さん

初段～九級

○小黒さん　心を込めて習字に取り組んでいる姿が見えるような力強い作品です。

神長　雪華　評

伸び伸びと書いていて、文字が生き生きとしています。

○松本さん　力強く、堂々と書いています。

○川村さん　太く強い線で豪快に書いていて、他を圧倒しています。

○小林さん　起筆、終筆しっかりとしていて、文字がバランスもよい。

○福田さん　切れ味のよい線で、きびきびと書けています。

○酒巻さん　落ち着いて、一字一字じっくりと書いています。

○大森さん　やや細い線が強い線で、しっかりと書いています。

○安達さん　筆使いよく、キリッとした線で、形もしっかりとしています。

○武田さん　素直な筆遣いで、ていねいに書いています。今後もこの調子で。

中学部

○田中さん　墨量充分にして、爽快な線を演出されている。明快な作品。

○久保田さん　歯切れがいい筆の捌き見事。全体バランスもさすがです。

○望月さん　筆の打ち込み強く筆圧十分。大らかな表現でよい。

○佐々木さん　線の太細を上手に変化させ余白を生かしている。字形も安定している。

○手塚さん　一画一画ていねいな筆使いで字形もよく整っています。

○大塚さん　懐を広くとり明るくのびやかな作品です。

○高橋さん　筆使い、全体のバランス良くすばらしい。名前も丁寧です。

郷間　大悠　評

弐段～九級

○河合さん　スカッとした線に重量感が加わり、堂々として存在感があります。

○岡田(幸)さん　じっくりとした運筆で線が充実し、紙面が落ち着いています。

○三村さん　難しい課題を調和のとれた字配りで見事にまとめあげていて立派です。

○米谷さん　スッキリとした書線で、明るくさわやかにまとめています。

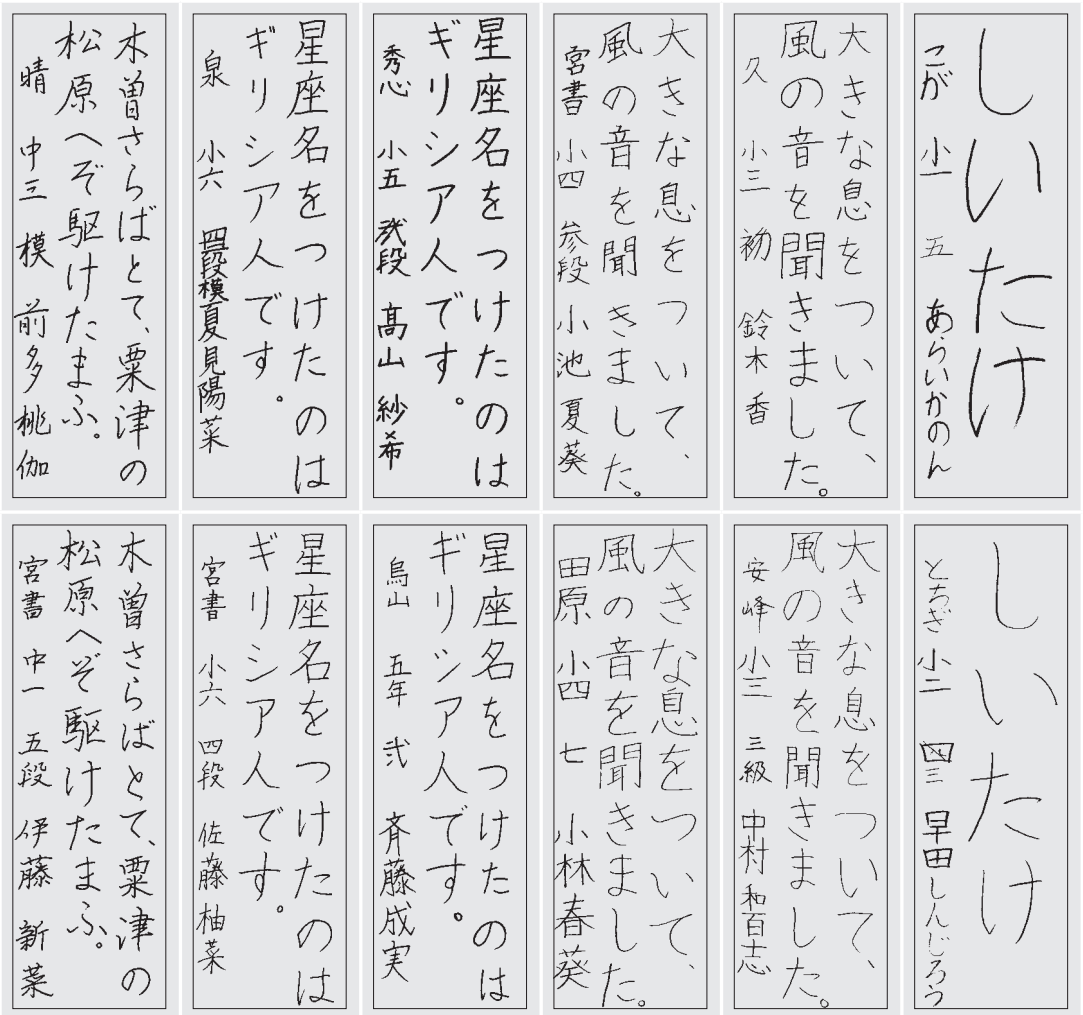
○桑原さん　起筆が個性的。どっしりとした線はボリューム感たっぷりです。

○平久井さん　用筆に気を気張りながら最後まで集中できていて、すっきり仕上がりました。

○鈴木さん　まさしく一刀両断、切れ味鋭い線が迫ってきて、見応え十分です。

松島　美舟　評

硬筆科優秀賞



硬筆科

幼・小一年〜小四年　　**水沼　龍峰　評**

○荒井さん　大きく力づよくかけました。

○早田さん　のびやかに、しっかりとした線でととのっています。

○鈴木さん　一字一字まとまりよく書けています。

○中村さん　明るくすっきりとした線でよい。

○小池さん　ていねいにしっかりと書けました。

○小林さん　おおらかで文字のすがたもよくととのっています。

小五年〜中学部　　**大輪　無涯　評**

○高山さん　文字の姿、線の太さ抜群です。

○斉藤さん　明るく、大きくのびのびしています。

○夏見さん　少し右上がりにして読みよい字です。

○佐藤さん　立派に書けています。素晴らしい。

○前多さん　文字の姿のバランスが良い。

○伊藤さん　強く押さえてガッツリとした字です。

特選おめでとう

①学校名と学年　②入会した年月　③新入の編入級　④首位賞の回数　⑤特選の回数　⑥今迄に何回出品を休みましたか　⑦特選の知らせをうけたときの気持　⑧いつも作品を作るときはどのような気持で書きますか　⑨指導して下さる先生の名　⑩指導の先生の一言

――十二月号特選掲載もの――

三龍　齋藤　優樹（七級）

①栃木県宇都宮市立西小学校一年　②令和元年七月　③九級　④なし　⑤なし　⑥なし　⑦うれしかったです。　⑧たのしいきもち　⑨日賀野千恵子先生　⑩特選おめでとう！落ち着いてじっくりと書けるように練習していきましょうね。（日賀野）

宮書　小野寺心絆（三級）

①宮城県登米市立佐沼小学校二年　②平成三十年七月　③九級　④二回　⑤一回目　⑥ありません　⑦うれしかったです。　⑧お手本をよくみてかくようにしています。　⑨猪又宏孟先生　⑩心絆ちゃん特選おめでとう。！スゴイ！！少しずつ集中して練習する時間が増えてきました。これからの上達が楽しみです。（猪又）

都　鈴木　仁子（初段）

①栃木県日光市立落合西小学校三年　②平成二十九年四月　③九級　④数回　⑤二回目　⑥数回　⑦とてもおどろきました。　⑧お手本をよく見て、バランス良くかけるようにしています。　⑨大関都史先生　⑩仁子ちゃん二回目の特選おめでとう。とってもおどろきました。これからも上を目指して頑張りましょう。（大関）

若木　安良岡心晴（参段）

①栃木県小山市立若木小学校五年　②平成二十八年九月　③九級　④九回　⑤三回目　⑥六回　⑦弐段から参段へ上がるために、ずっとがんばってきたのでとてもうれしかったです。　⑧一枚、一枚を大切にして、前に書いた作品よりも良い作品をつくろうという気持ちで書いています。　⑨松島浩泉先生　⑩心晴ちゃん、特選おめでとう。熱いのあるせんを目標に、日々練習を重ねてきた成果だと思います。その調子で頑張って!!今後の成長を楽しみにいています。（松島）

光　格和　黎穂（四段）

①東京都台東区立金曽木小学校六年　②平成二十三年六月　③九級　④十五回　⑤初めて　⑥なし　⑦やっと特選をとることができたのでとてもうれしいです。　⑧教えてもらった

ことを生かせるように、一画、一画気をつけながら書いています。⑨永嶋幸子先生、髙橋綾子先生　⑩何事にも努力をする黎穂さん、特選おめでとう。時々失敗しちゃうけれど、諦めずに頑張っている姿、素敵です。これからも、お母さんを目標に頑張っていこうね。（永嶋）

青龍　増形　由香（五段）

①栃木県さくら市立氏家中学校二年　②平成二十五年四月　③九級　④数回　⑤三回　⑥なし　⑦とても驚きましたが、うれしかったです。　⑧先生のお手本と同じように書いています。　⑨平石彰之先生　⑩由香ちゃん特選おめでとう！勉強と一緒にいつも頑張ってますね。最近は筆先の使い方がとても上手く、墨絵もさらさら書けてしまうので、とても感心しています。今後も期待しています。（平石）

小学六年模範級は中学部五段に編入となります。
中学部より一般へ編入のときは新入となります。

会員の方で、各種展覧会等において上位の賞を受賞された情報がございましたら是非本部までお寄せ下さい。内容を検討の上、誌上に広く掲載させていただきます。

※段級証、首位賞は下記の目録を添えてお申し込み下さい。料金等については裏表紙を参照下さい。

段級証

目　録

一、受ける段級
一、その級になった誌上発表の年月号
一、学年　幼・小・中学　年生
一、昇級試験　月例競書
（昇候補　月号と　月号）
一、氏　名
申請者名
支　部

首位賞

目　録

一、誌上発表の年月号
一、学年　幼・小・中学　年生
一、首位になった段級
一、氏　名
年　月　日申込
申請者名
支　部

★令和２年１月より、段級証・硬筆用箋・選定画仙紙（瑞雲）などの価格が改定となります。ご理解ご了承お願いします。

なお、令和元年12月末日までは旧価格で承ります。

令和元年　秋期
模範合格おめでとう

栃木県・鹿沼北小六年
大　貫　花　鈴
和賀幸恵先生

栃木県・宇都宮大学付属小五年
小　倉　奏　樂
齋藤信代先生

栃木県・古山小五年
若　林　美　里
柏﨑麗泉先生

栃木県・平石北小四年
青　木　真　優
郷間大悠先生

群馬県・荒牧小六年
捧　　未　結
角田大壌先生

栃木県・陽東小六年
浅　野　真唯梨
郷間大悠先生

茨城県・古河第七小六年
井戸川　千　尋
兒島美智子先生

宮城県・登米小六年
金　田　淳　史
猪又澪舟先生

栃木県・細谷小六年
桜　井　智　広
箕輪紀寶先生

栃木県・桜小六年
齋　藤　歩　里
日賀野千恵子先生

栃木県・戸祭小六年
冨　岡　咲　希
赤澤寧生先生・恒川典濤先生

栃木県・雀宮南小六年
平　山　心　咲
吉田長子先生

宮城県・米谷小六年
松　浦　美　桜
猪又澪舟先生

栃木県・豊田中二年
五十畑　　光
松島浩泉先生

栃木県・本郷中二年
坂　入　乙　愛
柏﨑麗泉先生

栃木県・白沢小六年
駒　田　桃　佳
加藤榮舟先生

埼玉県・北川辺西小六年
夏　見　陽　菜
高嶋祥泉先生

栃木県・落合西小六年
江　幡　愛　音
大関都史先生

栃木県・宇都宮短期大学付属中三年
湯　澤　杏　夏
櫻井素玄先生

栃木県・陽西中三年
半　田　柚希乃
赤澤寧生先生・恒川典濤先生

栃木県・南河内中二年
鈴　木　愛　佳
川﨑美津子先生

栃木県・陽東中一年
宮　﨑　礼　佳
郷間大悠先生

栃木県・佐野南中三年
大　関　香里奈
小林香風先生

栃木県・藤岡第一中三年
藤　巻　綺　那
小林香風先生

栃木県・三島中一年
折　井　夢　月
杉山京子先生

栃木県・鹿沼東中三年
前　田　紗　希
竹谷天穹先生

栃木県・落合中一年
柴　田　瑠　偉
大関都史先生

宮城県・中田中三年
熊　谷　凪　紗
猪又宏孟先生

 栃木県・陽西中三年 **半田 真希乃** 赤澤寧生先生・恒川典濤先生	 栃木県・田原中三年 **岡本 夏実** 櫻井素玄先生	 宮城県・東和中三年 **菅原 央雅** 猪又澪舟先生	 栃木県・明治中三年 **舍川 克成** 柏﨑麗泉先生	 栃木県・小山中三年 **田村 碧唯** 松島浩泉先生
 栃木県・鬼怒中三年 **河上 明花里** 岩﨑北苑先生	 栃木県・烏山中三年 **吉川 和杜** 磯東舟先生	 栃木県・陽東中二年 **地土 すずか** 郷間大悠先生	 栃木県・明治中一年 **吉田 莉子** 柏﨑麗泉先生	 栃木県・南犬飼中二年 **瓦井 寿々** 高橋瑞峰先生
 栃木県・東原中三年 **齋藤 匠** 石戸松波先生	 栃木県・本郷中三年 **田﨑 琉華** 柏﨑麗泉先生	 栃木県・星が丘中三年 **鈴木 彩優里** 平井子晴先生	 栃木県・市貝中三年 **佐藤 慶己** 山口美圓先生	 栃木県・泉が丘中三年 **安田 海翔** 岩﨑北苑先生
 栃木県・阿久津中三年 **会森 稜** 本多徳風先生	 栃木県・阿久津中三年 **幕田 桜良** 本多徳風先生	 栃木県・鬼怒中三年 **尾形 理緒奈** 郷間大悠先生	 栃木県・東原中三年 **髙橋 聖昊** 石戸松波先生	 栃木県・宝木中三年 **渡辺 悠生** 平井子晴先生
 栃木県・日光東中三年 **長原 叶和** 石戸松波先生	 栃木県・烏山中三年 **堀江 一世** 磯東舟先生	 栃木県・日光東中 **佐藤 萌** 石戸松波先生	 群馬県・南橘中三年 **高橋 明華** 角田大壌先生	 栃木県・南河内中三年 **上野 花菜** 岩上智和先生

模範合格の記念に段級証をお薦めします。